

令和7年度

教育委員会事務の点検及び評価報告書
(令和6年度実績)

令和7年11月

千 曲 市 教 育 委 員 会

目 次

1	はじめに	1
2	実施の方法	2
3	評価シート(主要な施策の評価に関する説明書)	4
4	成果指標	18
5	外部評価での意見・提言とそれに対する考え	25
6	点検及び評価を受けて	25
7	資 料	
	教育長・教育委員	26
	教育委員会基本方針	26
	令和6年度教育委員会議及び議決案件一覧	29
	教育委員会事務分掌	32

1 はじめに

平成 20 年 4 月から、教育委員会は地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条に基づき、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することとなりました。

点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされており、千曲市では千曲市教育振興審議会による外部評価を加え、点検及び評価を行うこととしています。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律【抜粋】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

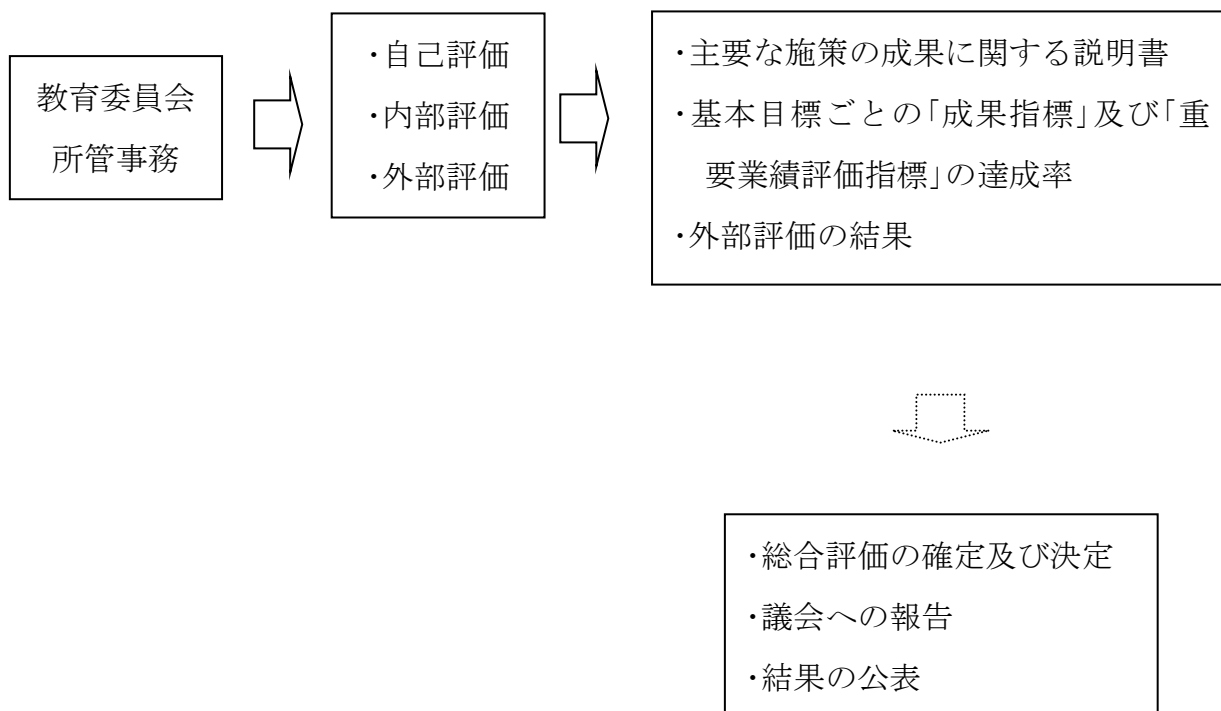
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 実施の方法

(1) 点検及び評価の方法と手順

点検及び評価の対象は、教育委員会の権限に属する事務のうち、前年度に実施した主要施策並びに第三次千曲市総合計画「成果指標」（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略「重要業績評価指標（KPI）」）の対象事業とします。

- ① 担当課長は、「主要な施策の成果に関する説明書」及び「成果指標」等の内容を踏まえて、**自己評価**をします。
- ② 教育部で自己評価を検証し、主要な施策の成果について**内部評価**をします。
- ③ 千曲市教育振興審議会が、「主要な施策の成果に関する説明書」により、**外部評価**をします。
- ④ 教育委員会において「担当課の評価」及び「外部評価委員会の評価」を踏まえて**総合評価**の確定及び決定をします。



(2) 千曲市教育振興審議会委員

氏 名	役職等	備考
宮崎 樹夫	【会長】信州大学 教授	学識経験者
柳澤 正寿	千曲市校長会 会長	屋代中学校長
徳武 真弓	県女性校長会千曲市 代表	八幡小学校長
梶浦 麻依子	更埴PTA連合会 会長	PTA代表
清水 明花	【幹事】更埴PTA連合会 副会長	PTA代表
上條 優	千曲市公民館運営協議会 会長	生涯学習推進団体
塚田 訓好	【幹事】特定非営利活動法人 千曲市スポーツ協会 会長	スポーツ振興団体
金井 仁	千曲市文化芸術協会 事務局長	文化振興団体
久保田 英雄	元県生涯学習文化財課指導主事	歴史文化学識経験者
唐木 文子	【副会長】一般公募	公募
河原 才	一般公募	公募
老月 秀光	一般公募	公募

令和6年度 主要な成果に関する説明書

事業名	小中学校施設整備事業	担当課名	教育総務課
-----	------------	------	-------

基本目標Ⅰ Ⅰ－１ 施策１－１

事業費	主要な施策の成果等																																																
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">7,253,300</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td></td></tr> <tr> <td>給料、職員 手当等</td><td>3,378,000 (0.6人)</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td></td></tr> <tr> <td>需用費</td><td></td></tr> <tr> <td>役務費</td><td></td></tr> <tr> <td>委託料</td><td></td></tr> <tr> <td>使用料及び 賃借料</td><td></td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購 入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td>3,875,300</td></tr> <tr> <td>負担金、補 助及び交付 金</td><td></td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填 及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決 算 額 (円)		7,253,300		節 別 内 訳 (円)		報酬		給料、職員 手当等	3,378,000 (0.6人)	報償費		旅費		需用費		役務費		委託料		使用料及び 賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購 入費		備品購入費	3,875,300	負担金、補 助及び交付 金		扶助費		補償、補填 及び賠償金		公課費		【事業目的】 小中学校の特別教室にエアコンを設置し、熱中症の予防と快適な学習環境を整備する また、空き教室にはエアコンが設置されていないため、学年進行により空き教室を使用する場合にも対応する。 【実績】 ○設置箇所 <table> <tr> <td>・八幡小学校学習室2</td><td>480,700円</td></tr> <tr> <td>・八幡小学校家庭科室、調理室</td><td>801,900円</td></tr> <tr> <td>・戸倉小学校家庭科室</td><td>834,900円</td></tr> <tr> <td>・屋代中学校被服室</td><td>878,900円</td></tr> <tr> <td>・埴生中学校調理室</td><td>878,900円</td></tr> </table> 【成果等】 ・特別教室4か所に加え、学年進級により使用することになった、普通教室1か所にも設置が完了し、教育環境を改善することができた。 【今後の方向性】 ・令和7年度も予算措置されており、現状の予算額では未設置箇所全ての設置は難しいが、予算の執行状況によっては令和8年度以降設置予定箇所の前倒しを検討する。	・八幡小学校学習室2	480,700円	・八幡小学校家庭科室、調理室	801,900円	・戸倉小学校家庭科室	834,900円	・屋代中学校被服室	878,900円	・埴生中学校調理室	878,900円
決 算 額 (円)																																																	
7,253,300																																																	
節 別 内 訳 (円)																																																	
報酬																																																	
給料、職員 手当等	3,378,000 (0.6人)																																																
報償費																																																	
旅費																																																	
需用費																																																	
役務費																																																	
委託料																																																	
使用料及び 賃借料																																																	
工事請負費																																																	
原材料費																																																	
公有財産購 入費																																																	
備品購入費	3,875,300																																																
負担金、補 助及び交付 金																																																	
扶助費																																																	
補償、補填 及び賠償金																																																	
公課費																																																	
・八幡小学校学習室2	480,700円																																																
・八幡小学校家庭科室、調理室	801,900円																																																
・戸倉小学校家庭科室	834,900円																																																
・屋代中学校被服室	878,900円																																																
・埴生中学校調理室	878,900円																																																
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td>3,874,000</td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>3,379,300</td></tr> </table> 【会計区分】 一般会計	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他	3,874,000	一般財源	3,379,300																																					
財 源 内 訳 (円)																																																	
国庫支出金																																																	
県支出金																																																	
地方債																																																	
その他	3,874,000																																																
一般財源	3,379,300																																																

事業名	地域クラブ活動体制整備事業	担当課名	教育総務課
-----	---------------	------	-------

基本目標Ⅰ Ⅰ－Ⅰ 施策Ⅰ－Ⅰ

事業費		主要な施策の成果等																																							
<table><tr><th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr><tr><td colspan="2">26, 123, 969</td></tr><tr><th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr><tr><td>報酬</td><td>2, 395, 621</td></tr><tr><td>給料、職員手当等</td><td>(0.8 人) 4, 504, 000 465, 428</td></tr><tr><td>報償費</td><td>14, 577, 500</td></tr><tr><td>旅費</td><td>463, 470</td></tr><tr><td>需用費</td><td>1, 234, 370</td></tr><tr><td>役務費</td><td></td></tr><tr><td>委託料</td><td></td></tr><tr><td>使用料及び賃借料</td><td>2, 118, 430</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td></td></tr><tr><td>原材料費</td><td></td></tr><tr><td>公有財産購入費</td><td></td></tr><tr><td>備品購入費</td><td></td></tr><tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>365, 150</td></tr><tr><td>扶助費</td><td></td></tr><tr><td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr><tr><td>公課費</td><td></td></tr></table>		決 算 額 (円)		26, 123, 969		節 別 内 訳 (円)		報酬	2, 395, 621	給料、職員手当等	(0.8 人) 4, 504, 000 465, 428	報償費	14, 577, 500	旅費	463, 470	需用費	1, 234, 370	役務費		委託料		使用料及び賃借料	2, 118, 430	工事請負費		原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金	365, 150	扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		【事業目的】 - 千曲市教育委員会・坂城町教育委員会では、中学校部活動の円滑な地域移行を実現するために、「千曲坂城クラブ」を令和5年3月に設立した。 - このクラブは、中学校部活動に代わる「新たなスポーツ・文化芸術環境を構築する」ことを目的としており、令和8年度から平日も含めクラブへの完全移行を目指す。 【実績】 (千曲坂城クラブの概要) 18 の専門部（運動部：13、文化部：5） - クラブ会員数（生徒）：1,067 名 - 指導者登録数：244 名 【成果等】 - 各専門部で活動の回数（休日に加えて平日も）の差はあるが、すべての専門部で活動を進めることができた - 指導者資質向上のための指導者研修会を指導者の都合のつく時間で受講できるようオンライン実施とした。 - 広報活動として、クラブだよりの発行（12 回）とホームページの運営管理を行った。 - 運営委員会（3 回）、専門部事務局会議（2 回）を開催した。 - 賛助会員（個人・団体）やふるさと納税等により自主財源の確保に努めた。 【今後の方向性】 - 令和8年度の完全クラブ化へ向けた準備 - 活動のための安定的な財源確保を目的とした「年会費」「月会費」への理解及び「賛助会員の拡大」やふるさと納税等の財政支援を広く呼びかけていく。 - 事務の負担軽減の面から、クラブとしてデジタルツール（連絡事務・集金事務）を整える必要があるため、導入を進めるとともに、その活用を図る。 - 各専門部で可能な地域貢献活動の推進	
決 算 額 (円)																																									
26, 123, 969																																									
節 別 内 訳 (円)																																									
報酬	2, 395, 621																																								
給料、職員手当等	(0.8 人) 4, 504, 000 465, 428																																								
報償費	14, 577, 500																																								
旅費	463, 470																																								
需用費	1, 234, 370																																								
役務費																																									
委託料																																									
使用料及び賃借料	2, 118, 430																																								
工事請負費																																									
原材料費																																									
公有財産購入費																																									
備品購入費																																									
負担金、補助及び交付金	365, 150																																								
扶助費																																									
補償、補填及び賠償金																																									
公課費																																									
<table><tr><th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr><tr><td>国庫支出金</td><td>12, 767, 845</td></tr><tr><td>県支出金</td><td></td></tr><tr><td>地方債</td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td>(年会費) 2, 347, 400 (基金繰入金) 2, 500, 000 (坂城町) 1, 832, 076</td></tr><tr><td>一般財源</td><td>6, 676, 648</td></tr></table>		財 源 内 訳 (円)		国庫支出金	12, 767, 845	県支出金		地方債		その他	(年会費) 2, 347, 400 (基金繰入金) 2, 500, 000 (坂城町) 1, 832, 076	一般財源	6, 676, 648																												
財 源 内 訳 (円)																																									
国庫支出金	12, 767, 845																																								
県支出金																																									
地方債																																									
その他	(年会費) 2, 347, 400 (基金繰入金) 2, 500, 000 (坂城町) 1, 832, 076																																								
一般財源	6, 676, 648																																								
【会計区分】 一般会計																																									

【会計区分】 一般会計

事業名	学校給食食材高騰分支援事業	担当課名	第1学校給食センター
-----	---------------	------	------------

基本目標Ⅰ Ⅰ－1 施策1－2

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決算額(円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">29,140,022</td></tr> <tr> <th colspan="2">節別内訳(円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td></td></tr> <tr> <td>給料、職員 手当等</td><td>1,689,000</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td></td></tr> <tr> <td>需用費</td><td>27,451,022</td></tr> <tr> <td>役務費</td><td></td></tr> <tr> <td>委託料</td><td></td></tr> <tr> <td>使用料及び 賃借料</td><td></td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購 入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補 助及び交付 金</td><td></td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填 及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決算額(円)		29,140,022		節別内訳(円)		報酬		給料、職員 手当等	1,689,000	報償費		旅費		需用費	27,451,022	役務費		委託料		使用料及び 賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購 入費		備品購入費		負担金、補 助及び交付 金		扶助費		補償、補填 及び賠償金		公課費		【事業目的】 学校給食における「食材価格高騰分」について、1食34円の公費負担をすることにより、給食費を値上げせず、現在の額に据え置き、子育て世帯の経済的な負担を軽減する。 【実績】 学校給食賄材料費 305,152,908円 (内 物価高騰分賄材料費 27,451,022円) 1食あたり34円×対象児童生徒の年間喫食数807,383食＝27,451,022円 【内訳】 第1学校給食センター521,436食×34円＝17,728,824円 第2学校給食センター285,947食×34円＝9,722,198円 ＊物価高騰が顕著になる前の令和2年度と令和5年度を比較するため物価高騰指数を使用し34円を算出。 【成果等】 物価高騰に直面する保護者の経済的な負担軽減と給食の質と量を確保することができた。 交付金を活用し食材の価格高騰分を市が負担することにより、学校給食費を現在の額に据え置くことができた。 学校給食費の急激な値上げを回避することにより、子育て世帯の経済的な負担を軽減し、子育て支援となった。 【今後の方向性】 給食費の急激な値上げを回避する。 今後、食材の価格動向を注視しながら支援額を検討していく。
決算額(円)																																							
29,140,022																																							
節別内訳(円)																																							
報酬																																							
給料、職員 手当等	1,689,000																																						
報償費																																							
旅費																																							
需用費	27,451,022																																						
役務費																																							
委託料																																							
使用料及び 賃借料																																							
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産購 入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補 助及び交付 金																																							
扶助費																																							
補償、補填 及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財源内訳(円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td>24,615,000</td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td></td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>4,525,022</td></tr> </table> 【会計区分】 一般会計	財源内訳(円)		国庫支出金	24,615,000	県支出金		地方債		その他		一般財源	4,525,022																											
財源内訳(円)																																							
国庫支出金	24,615,000																																						
県支出金																																							
地方債																																							
その他																																							
一般財源	4,525,022																																						

事業名	第1学校給食センター管理運営事業	担当課名	第1学校給食センター
-----	------------------	------	------------

基本目標Ⅰ Ⅰ－1 施策1－2

事業費		主要な施策の成果等																																																									
<table><tr><th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr><tr><td colspan="2">350,786,947</td></tr><tr><th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr><tr><td>1. 報酬</td><td>30,423,095</td></tr><tr><td>3. 給料、 職員手当等</td><td>57,322,260</td></tr><tr><td>7. 報償費</td><td></td></tr><tr><td>8. 旅費</td><td>559,300</td></tr><tr><td>10. 需用費</td><td>242,718,611</td></tr><tr><td>11. 役務費</td><td>1,213,236</td></tr><tr><td>12. 委託料</td><td>16,472,953</td></tr><tr><td>13. 使用料及び 賃借料</td><td>1,965,792</td></tr><tr><td>14. 工事請負費</td><td></td></tr><tr><td>15. 原材料費</td><td></td></tr><tr><td>16. 公有財産 購入費</td><td></td></tr><tr><td>17. 備品購入費</td><td></td></tr><tr><td>18. 負担金、補 助及び交付 金</td><td>25,600</td></tr><tr><td>19. 扶助費</td><td></td></tr><tr><td>21. 補償、補填 及び賠償金</td><td></td></tr><tr><td>26. 公課費</td><td>86,100</td></tr></table>		決 算 額 (円)		350,786,947		節 別 内 訳 (円)		1. 報酬	30,423,095	3. 給料、 職員手当等	57,322,260	7. 報償費		8. 旅費	559,300	10. 需用費	242,718,611	11. 役務費	1,213,236	12. 委託料	16,472,953	13. 使用料及び 賃借料	1,965,792	14. 工事請負費		15. 原材料費		16. 公有財産 購入費		17. 備品購入費		18. 負担金、補 助及び交付 金	25,600	19. 扶助費		21. 補償、補填 及び賠償金		26. 公課費	86,100	【事業目的】 児童・生徒の心身の成長を図るため、安全・安心でおいしい給食の提供を行う。 - 調理時の衛生管理の徹底 - 地元食材の活用と拡大、食育の推進 - 食物アレルギー対応、栄養バランス面での配慮 【実績】 - 児童生徒の心身の発達・体力向上を図るため、衛生管理に配慮し、地域でとれる食材の活用にも努める中で、食物アレルギー対応食を含め、安全で栄養バランスのとれた給食の提供に努め、業務を行った。 - 新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス感染防止措置による学年・学級閉鎖等に伴う給食数の変更に対応した。 - 給食提供 8校（小学校5校、中学校3校） 給食数 2,969食 （アレルギー対応給食該当者42人） 給食日数208日 - 地産地消の推進（重量換算：46.38%） <table><tr><th></th><th>市内産</th><th>県内産</th></tr><tr><td>果 物</td><td>39.49%</td><td>4.57%</td></tr><tr><td>野 菜</td><td>4.57%</td><td>15.15%</td></tr><tr><td>きのこ</td><td>99.31%</td><td>0.69%</td></tr><tr><td>米 飯</td><td>95.00%</td><td>5.00%</td></tr><tr><td>計</td><td>34.95%</td><td>11.43%</td></tr></table> - 残菜量 15.1kg/日（前年度16.6kg/日） 【成果等】 - 栄養士（栄養教諭）及び調理従事者の衛生管理により食中毒を防止することができた。 - 栄養教諭による食教育への取り組みにより、児童生徒の食への正しい理解の醸成に資することができた。 - アレルギー対応栄養士により、適切な対応給食の提供ができた。 【今後の方向性】 - 安全で安心な学校給食を安定して提供していくために以下の事項について努めていくことが求められる。 - 衛生管理の徹底及びレベルの向上 - 異物混入などの給食事故防止への取り組み - 施設・機械設備・器具類の適切な維持管理と改善 - 調理作業等における事故防止の推進			市内産	県内産	果 物	39.49%	4.57%	野 菜	4.57%	15.15%	きのこ	99.31%	0.69%	米 飯	95.00%	5.00%	計	34.95%	11.43%
決 算 額 (円)																																																											
350,786,947																																																											
節 別 内 訳 (円)																																																											
1. 報酬	30,423,095																																																										
3. 給料、 職員手当等	57,322,260																																																										
7. 報償費																																																											
8. 旅費	559,300																																																										
10. 需用費	242,718,611																																																										
11. 役務費	1,213,236																																																										
12. 委託料	16,472,953																																																										
13. 使用料及び 賃借料	1,965,792																																																										
14. 工事請負費																																																											
15. 原材料費																																																											
16. 公有財産 購入費																																																											
17. 備品購入費																																																											
18. 負担金、補 助及び交付 金	25,600																																																										
19. 扶助費																																																											
21. 補償、補填 及び賠償金																																																											
26. 公課費	86,100																																																										
	市内産	県内産																																																									
果 物	39.49%	4.57%																																																									
野 菜	4.57%	15.15%																																																									
きのこ	99.31%	0.69%																																																									
米 飯	95.00%	5.00%																																																									
計	34.95%	11.43%																																																									
<table><tr><th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr><tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr><tr><td>県支出金</td><td></td></tr><tr><td>地方債</td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td>174,779,348</td></tr><tr><td>一般財源</td><td>176,007,599</td></tr></table>		財 源 内 訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他	174,779,348	一般財源	176,007,599																																														
財 源 内 訳 (円)																																																											
国庫支出金																																																											
県支出金																																																											
地方債																																																											
その他	174,779,348																																																										
一般財源	176,007,599																																																										

事業名	学校給食徴収事務事業	担当課名	第1学校給食センター
-----	------------	------	------------

基本目標Ⅰ Ⅰ－1 施策1－2

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決算額(円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">5,083,272</td></tr> <tr> <th colspan="2">節別内訳(円)</th></tr> <tr> <td>1. 報酬</td><td>1,035,485</td></tr> <tr> <td>3. 給料、職員手当等</td><td>2,390,362</td></tr> <tr> <td>7. 報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>8. 旅費</td><td>38,700</td></tr> <tr> <td>10. 需用費</td><td>142,245</td></tr> <tr> <td>11. 役務費</td><td>188,280</td></tr> <tr> <td>12. 委託料</td><td></td></tr> <tr> <td>13. 使用料及び賃借料</td><td></td></tr> <tr> <td>14. 工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>15. 原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>16. 公有財産購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>17. 備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>18. 負担金、補助及び交付金</td><td>1,288,200</td></tr> <tr> <td>19. 扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>21. 補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>26. 公課費</td><td></td></tr> </table>	決算額(円)		5,083,272		節別内訳(円)		1. 報酬	1,035,485	3. 給料、職員手当等	2,390,362	7. 報償費		8. 旅費	38,700	10. 需用費	142,245	11. 役務費	188,280	12. 委託料		13. 使用料及び賃借料		14. 工事請負費		15. 原材料費		16. 公有財産購入費		17. 備品購入費		18. 負担金、補助及び交付金	1,288,200	19. 扶助費		21. 補償、補填及び賠償金		26. 公課費		【事業目的】 令和3年度より給食徴収システムを導入し、給食費の徴収事務を第1学校給食センターで実施。 市内小中学校13校（児童4139人、教職員等460人）の給食費徴収事務 【実績】 ・給食費徴収システムにより市が直接給食費の徴収を行っている。 定期徴収者の状況 口座振替 約3,030件/月 納付書 約10件/月 就学援助や生活保護等による公金振替での給食費納入者約405件/月 【成果等】 令和3年から市が一括して給食費の徴収を行っている。 令和4年から就学援助対象者については全額市が給食費を負担することとした。 これにより保護者が給食費を納付する負担や手間が軽減し、市が再振替する件数や督促状を発送する件数も減少した。 再振替件数 R3 約100件/月→R6 約81件/月 督促状発送件数 R3 約70件/月→R6 約43件/月 また、催告書を3回発送し、納入を依頼した。 【今後の方向性】 長期滞納者の中には通知や電話、訪問をしても直接連絡が取れない者もいる。 学校には担当者会議の時に未納者の情報を共有しているが、未納の解消に向けてどう連携をしていくかが課題である。
決算額(円)																																							
5,083,272																																							
節別内訳(円)																																							
1. 報酬	1,035,485																																						
3. 給料、職員手当等	2,390,362																																						
7. 報償費																																							
8. 旅費	38,700																																						
10. 需用費	142,245																																						
11. 役務費	188,280																																						
12. 委託料																																							
13. 使用料及び賃借料																																							
14. 工事請負費																																							
15. 原材料費																																							
16. 公有財産購入費																																							
17. 備品購入費																																							
18. 負担金、補助及び交付金	1,288,200																																						
19. 扶助費																																							
21. 補償、補填及び賠償金																																							
26. 公課費																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財源内訳(円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td></td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>5,083,272</td></tr> </table>	財源内訳(円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	5,083,272																											
財源内訳(円)																																							
国庫支出金																																							
県支出金																																							
地方債																																							
その他																																							
一般財源	5,083,272																																						

事業名	第2学校給食センター管理運営事業	担当課名	第2学校給食センター
-----	------------------	------	------------

基本目標Ⅰ Ⅰ－1 施策1－2

事業費		主要な施策の成果等																																																									
<table><tr><th colspan="2">決算額(円)</th></tr><tr><td colspan="2">204,316,999</td></tr><tr><th colspan="2">節別内訳(円)</th></tr><tr><td>1. 報酬</td><td>17,884,151</td></tr><tr><td>3. 給料、 職員手当等</td><td>42,100,130</td></tr><tr><td>7. 報償費</td><td></td></tr><tr><td>8. 旅費</td><td>336,500</td></tr><tr><td>10. 需用費</td><td>122,695,454</td></tr><tr><td>11. 役務費</td><td>909,289</td></tr><tr><td>12. 委託料</td><td>7,609,664</td></tr><tr><td>13. 使用料及び 賃借料</td><td>2,257,111</td></tr><tr><td>14. 工事請負費</td><td>1,870,000</td></tr><tr><td>15. 原材料費</td><td></td></tr><tr><td>16. 公有財産 購入費</td><td></td></tr><tr><td>17. 備品購入費</td><td>8,569,000</td></tr><tr><td>18. 負担金、補 助及び交付 金</td><td>29,600</td></tr><tr><td>19. 扶助費</td><td></td></tr><tr><td>21. 補償、補填 及び賠償金</td><td></td></tr><tr><td>26. 公課費</td><td>56,100</td></tr></table>		決算額(円)		204,316,999		節別内訳(円)		1. 報酬	17,884,151	3. 給料、 職員手当等	42,100,130	7. 報償費		8. 旅費	336,500	10. 需用費	122,695,454	11. 役務費	909,289	12. 委託料	7,609,664	13. 使用料及び 賃借料	2,257,111	14. 工事請負費	1,870,000	15. 原材料費		16. 公有財産 購入費		17. 備品購入費	8,569,000	18. 負担金、補 助及び交付 金	29,600	19. 扶助費		21. 補償、補填 及び賠償金		26. 公課費	56,100	【事業目的】 児童、生徒の心身の成長を図るため、安全・安心でおいしい給食の提供を行う。 ・調理時の衛生管理の徹底 ・地元食材の活用と拡大、食育の推進 ・食物アレルギー対応、栄養バランス面での配慮 【実績】 ・児童生徒の心身の発達・体力向上を図るため、衛生管理に配慮し、地域でとれる食材の活用にも努める中で、食物アレルギー対応食を含め、安全で栄養バランスのとれた給食の提供に努め、業務を行った。「オーガニックの日」にちなんで12/6にオーガニック給食の日を設け管内小中学校へ地元産のオーガニック野菜（キャベツ、大根、にんじん、ねぎ、しょうが）を提供した。 ・新型コロナ・インフルエンザウイルス感染防止措置による学年・学級閉鎖等に伴う給食数の変更に対応した。 1. 給食提供 5校（小学校4校、中学校1校） 給食数 1,612食 （アレルギー対応給食該当者 19人） 給食日数 206日 2. 地産地消の推進（重量換算：53.45%） <table><tr><th></th><th>市内産</th><th>県内産</th></tr><tr><td>果 物</td><td>28.57%</td><td>7.35%</td></tr><tr><td>野 菜</td><td>8.93%</td><td>16.79%</td></tr><tr><td>きのこ</td><td>94.11%</td><td>5.89%</td></tr><tr><td>米 飯</td><td>95.00%</td><td>5.00%</td></tr><tr><td>計</td><td>41.28%</td><td>12.17%</td></tr></table> 3. 残菜量 17.0 kg/日（前年度 17.6 kg/日） 【成果等】 ・栄養士（栄養教諭）及び調理従事者の衛生管理により食中毒を防止することができた。 ・栄養教諭による食教育への取り組みにより、児童生徒の食への正しい理解の醸成に資することができた。 ・アレルギー対応栄養士により、適切な対応給食の提供ができた。 【今後の方向性】 ・安全で安心な学校給食を安定して提供していくために以下の事項について努めていくことが求められる。 ・衛生管理の徹底及びレベルの向上 ・異物混入などの給食事故防止への取り組み ・施設・機械設備・器具類の適切な維持管理と改善 ・調理作業等における事故防止の推進			市内産	県内産	果 物	28.57%	7.35%	野 菜	8.93%	16.79%	きのこ	94.11%	5.89%	米 飯	95.00%	5.00%	計	41.28%	12.17%
決算額(円)																																																											
204,316,999																																																											
節別内訳(円)																																																											
1. 報酬	17,884,151																																																										
3. 給料、 職員手当等	42,100,130																																																										
7. 報償費																																																											
8. 旅費	336,500																																																										
10. 需用費	122,695,454																																																										
11. 役務費	909,289																																																										
12. 委託料	7,609,664																																																										
13. 使用料及び 賃借料	2,257,111																																																										
14. 工事請負費	1,870,000																																																										
15. 原材料費																																																											
16. 公有財産 購入費																																																											
17. 備品購入費	8,569,000																																																										
18. 負担金、補 助及び交付 金	29,600																																																										
19. 扶助費																																																											
21. 補償、補填 及び賠償金																																																											
26. 公課費	56,100																																																										
	市内産	県内産																																																									
果 物	28.57%	7.35%																																																									
野 菜	8.93%	16.79%																																																									
きのこ	94.11%	5.89%																																																									
米 飯	95.00%	5.00%																																																									
計	41.28%	12.17%																																																									
<table><tr><th colspan="2">財源内訳(円)</th></tr><tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr><tr><td>県支出金</td><td></td></tr><tr><td>地方債</td><td>6,500,000</td></tr><tr><td>その他</td><td>96,702,072</td></tr><tr><td>一般財源</td><td>101,114,927</td></tr></table>		財源内訳(円)		国庫支出金		県支出金		地方債	6,500,000	その他	96,702,072	一般財源	101,114,927																																														
財源内訳(円)																																																											
国庫支出金																																																											
県支出金																																																											
地方債	6,500,000																																																										
その他	96,702,072																																																										
一般財源	101,114,927																																																										

事業名	国際都市交流事業	担当課名	生涯学習課
-----	----------	------	-------

基本目標Ⅰ Ⅰ－3 施策3－1

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">563,000</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td></td></tr> <tr> <td>給料、職員 手当等</td><td>563,000</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td></td></tr> <tr> <td>需用費</td><td></td></tr> <tr> <td>役務費</td><td></td></tr> <tr> <td>委託料</td><td></td></tr> <tr> <td>使用料及び 賃借料</td><td></td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購 入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補 助及び交付 金</td><td></td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填 及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決 算 額 (円)		563,000		節 別 内 訳 (円)		報酬		給料、職員 手当等	563,000	報償費		旅費		需用費		役務費		委託料		使用料及び 賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購 入費		備品購入費		負担金、補 助及び交付 金		扶助費		補償、補填 及び賠償金		公課費		【事業目的】 2020年東京オリンピック・パラリンピックでのホストタウン事業を継続・発展するため、30年来の交流を続けてきたハンガリーとの友好交流事業を市民との協働により展開する。 【実績】 ハンガリーにゆかりのある音楽家のコンサートを開催する団体に対して後援することで、音楽や文化を紹介するイベントを支援した。 令和6年6月13日 「金子三勇士 日本＝ハンガリー未来プロジェクト in 千曲 チャリティコンサート Vol.1」がRaum 戸倉宿ホール昭和蔵で開催された。観客130名が来場した。 令和6年9月28日 「ハンガリーワイン&音楽の夕べ2024」が上山田文化会館ホワイエで開催された。 【成果等】 ハンガリーを中心に活躍する国際的な音楽家によるコンサートを通じて、市民のハンガリーに対する理解が深まった。 来場した市民が音楽やワインを通じてハンガリーの文化・芸術を体験し交流することができた。 【今後の方向性】 今後も市民レベルの交流に対して後援等で協力をしていく。
決 算 額 (円)																																							
563,000																																							
節 別 内 訳 (円)																																							
報酬																																							
給料、職員 手当等	563,000																																						
報償費																																							
旅費																																							
需用費																																							
役務費																																							
委託料																																							
使用料及び 賃借料																																							
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産購 入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補 助及び交付 金																																							
扶助費																																							
補償、補填 及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td></td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>563,000</td></tr> </table>	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	563,000																											
財 源 内 訳 (円)																																							
国庫支出金																																							
県支出金																																							
地方債																																							
その他																																							
一般財源	563,000																																						
【会計区分】 一般会計																																							

事業名	図書館システム更新事業	担当課名	生涯学習課
-----	-------------	------	-------

基本目標Ⅰ Ⅰ－２ 施策２－１

事業費	主要な施策の成果等																																																
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">12,308,540</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td></td></tr> <tr> <td>給料、職員 手当等</td><td>4,504,000</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td></td></tr> <tr> <td>需用費</td><td></td></tr> <tr> <td>役務費</td><td></td></tr> <tr> <td>委託料</td><td>1,135,200</td></tr> <tr> <td>使用料及び 賃借料</td><td>2,703,180</td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購 入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td>3,966,160</td></tr> <tr> <td>負担金、補 助及び交付 金</td><td></td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填 及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決 算 額 (円)		12,308,540		節 別 内 訳 (円)		報酬		給料、職員 手当等	4,504,000	報償費		旅費		需用費		役務費		委託料	1,135,200	使用料及び 賃借料	2,703,180	工事請負費		原材料費		公有財産購 入費		備品購入費	3,966,160	負担金、補 助及び交付 金		扶助費		補償、補填 及び賠償金		公課費		【事業目的】 市立図書館において、マイナンバーカードやスマートフォンで図書等の貸出が可能となるシステムを構築し、利用者の利便性向上を図る。 【実績】 <table> <tr> <td>・マイナンバーカード連携登録者</td><td>23人</td></tr> <tr> <td>・マイナンバーカードによる貸出利用者</td><td>66人</td></tr> <tr> <td>・スマートフォンバーコードによる貸出利用者</td><td>35人</td></tr> <tr> <td>・年間図書館利用者数</td><td>64,459人</td></tr> <tr> <td>・年間図書等貸出冊数</td><td>283,068冊</td></tr> </table> 【成果等】 デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、図書館利用における個人認証手段を複数化するための仕組みを導入した。 10月1日から運用を開始し、一定数の利用者はいるものの本事業を推進するには、さらに周知を進める必要がある。 【今後の方向性】 図書館利用カードを忘れて来館してしまった場合でも、他の手段により図書館利用がかなうというメリットを広く周知するため、市の主催事業や読書関連イベント開催時など機を捉えて実演を交えた広報を行い、本事業を推進していく。	・マイナンバーカード連携登録者	23人	・マイナンバーカードによる貸出利用者	66人	・スマートフォンバーコードによる貸出利用者	35人	・年間図書館利用者数	64,459人	・年間図書等貸出冊数	283,068冊
決 算 額 (円)																																																	
12,308,540																																																	
節 別 内 訳 (円)																																																	
報酬																																																	
給料、職員 手当等	4,504,000																																																
報償費																																																	
旅費																																																	
需用費																																																	
役務費																																																	
委託料	1,135,200																																																
使用料及び 賃借料	2,703,180																																																
工事請負費																																																	
原材料費																																																	
公有財産購 入費																																																	
備品購入費	3,966,160																																																
負担金、補 助及び交付 金																																																	
扶助費																																																	
補償、補填 及び賠償金																																																	
公課費																																																	
・マイナンバーカード連携登録者	23人																																																
・マイナンバーカードによる貸出利用者	66人																																																
・スマートフォンバーコードによる貸出利用者	35人																																																
・年間図書館利用者数	64,459人																																																
・年間図書等貸出冊数	283,068冊																																																
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td>1,955,580</td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td></td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>10,352,960</td></tr> </table> 【会計区分】 一般会計	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金	1,955,580	県支出金		地方債		その他		一般財源	10,352,960																																					
財 源 内 訳 (円)																																																	
国庫支出金	1,955,580																																																
県支出金																																																	
地方債																																																	
その他																																																	
一般財源	10,352,960																																																

事業名	文化会館施設整備事業	担当課名	文化課
-----	------------	------	-----

基本目標Ⅰ Ⅰ－２ 施策２－３

事業費		主要な施策の成果等																																							
<table><tr><th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr><tr><td colspan="2">624,914,200</td></tr><tr><th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr><tr><td>報酬</td><td></td></tr><tr><td>給料、職員手当等</td><td>9,571,000</td></tr><tr><td>報償費</td><td></td></tr><tr><td>旅費</td><td></td></tr><tr><td>需用費</td><td></td></tr><tr><td>役務費</td><td></td></tr><tr><td>委託料</td><td>22,421,200</td></tr><tr><td>使用料及び賃借料</td><td></td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>592,922,000</td></tr><tr><td>原材料費</td><td></td></tr><tr><td>公有財産購入費</td><td></td></tr><tr><td>備品購入費</td><td></td></tr><tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td></td></tr><tr><td>扶助費</td><td></td></tr><tr><td>補償、補填及び賠償金</td><td></td></tr><tr><td>公課費</td><td></td></tr></table>		決 算 額 (円)		624,914,200		節 別 内 訳 (円)		報酬		給料、職員手当等	9,571,000	報償費		旅費		需用費		役務費		委託料	22,421,200	使用料及び賃借料		工事請負費	592,922,000	原材料費		公有財産購入費		備品購入費		負担金、補助及び交付金		扶助費		補償、補填及び賠償金		公課費		【事業目的】 施設安全対策及び老朽化対策として文化会館及び付帯設備に関する整備・改修を図る。 (主要事業) 1：千曲市更埴文化会館 スプリンクラー及び特定天井改修事業 建築主体工事 2：千曲市更埴文化会館 スプリンクラー及び特定天井改修事業 電気設備工事 3：千曲市更埴文化会館 屋根・外壁改修工事 4：上山田文化会館トイレ改修工事 【実績】 1：受注者 中信建設(株) 工期 令和6年5月14日～令和7年2月28日 契約額 278,740,000円 ・スプリンクラー改修工 - スプリンクラーヘッド改修 414箇所 - メイン配管改修 L=1,875m ・特定天井改修工 A=1,408.2㎡ 2：受注者 (株)峰村電気商会 工期 令和6年6月6日～令和7年2月28日 契約額 110,000,000円 ・スプリンクラー設備更新工事に係る電気設備工事一式 ・特定天井改修工事に係る電気設備工事 一式 3：受注者 長坂建設(株) 工期 令和6年5月14日～令和7年2月28日 契約額 192,390,000円 ・防水シール改修工 L=6,887.4m ・外壁タイル改修工 A=3,837.9㎡ 4：受注者 (株)共栄機械設備 工期 令和6年5月7日～令和6年8月19日 契約額 10,527,000円 ・便器洋式化工事 9箇所 ・照明LED化工事 11箇所 【成果等】 ・安全・安心な施設維持管理 ・施設長寿命化に伴う公共の福祉益の増加 ・施設利用に対する利便性向上 【今後の方向性】 ・文化振興計画等に基づく文化施設の在り方の整理 ・上記を考慮した計画的な改修整備（舞台機構含む）の実施	
決 算 額 (円)																																									
624,914,200																																									
節 別 内 訳 (円)																																									
報酬																																									
給料、職員手当等	9,571,000																																								
報償費																																									
旅費																																									
需用費																																									
役務費																																									
委託料	22,421,200																																								
使用料及び賃借料																																									
工事請負費	592,922,000																																								
原材料費																																									
公有財産購入費																																									
備品購入費																																									
負担金、補助及び交付金																																									
扶助費																																									
補償、補填及び賠償金																																									
公課費																																									
<table><tr><th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr><tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr><tr><td>県支出金</td><td></td></tr><tr><td>地方債</td><td>524,900,000</td></tr><tr><td>その他</td><td>85,430,000</td></tr><tr><td>一般財源</td><td>14,584,200</td></tr></table>		財 源 内 訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債	524,900,000	その他	85,430,000	一般財源	14,584,200																												
財 源 内 訳 (円)																																									
国庫支出金																																									
県支出金																																									
地方債	524,900,000																																								
その他	85,430,000																																								
一般財源	14,584,200																																								
【会計区分】 一般会計																																									

事業名	重要伝統的建造物群保存推進事業	担当課名	歴史文化財センター
-----	-----------------	------	-----------

基本目標Ⅱ Ⅱ－1 施策1－1

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">21,717,310</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td></td></tr> <tr> <td>給料、職員 手当等</td><td>3,941,000</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td></td></tr> <tr> <td>旅費</td><td>56,660</td></tr> <tr> <td>需用費</td><td></td></tr> <tr> <td>役務費</td><td></td></tr> <tr> <td>委託料</td><td>475,200</td></tr> <tr> <td>使用料及び 賃借料</td><td></td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購 入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr> <td>負担金、補 助及び交付 金</td><td>17,244,450</td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填 及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決 算 額 (円)		21,717,310		節 別 内 訳 (円)		報酬		給料、職員 手当等	3,941,000	報償費		旅費	56,660	需用費		役務費		委託料	475,200	使用料及び 賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産購 入費		備品購入費		負担金、補 助及び交付 金	17,244,450	扶助費		補償、補填 及び賠償金		公課費		【事業目的】 - 重要伝統的建造物群保存地区に選定された、稲荷山地区の伝統的な建造物等の修理、修景事業に補助を行い、環境整備を図る。 - 令和5年3月策定の「稲荷山重伝建地区まちづくりデザイン」により、稲荷山地区活性化の拠点となる施設の整備を進める。 【実績】 - 伝統的建造物等の修理事業として、清水家主屋等、2件の事業に補助を行った。 - 重伝建の拠点施設として整備を行う方針を定めた「旧米清」の土地を市土地開発公社に依頼し、先行取得を行った。なお、建物については所有者より寄附をいただいた。 - 川西地区振興連絡協議会の協力をいただき、重伝建選定10周年に併せ、整備の経過報告を行った。(2月15日開催) 【成果等】 - 修理修景事業の実施により、伝統的な建造物が本来の姿を取り戻し、地区の環境整備に寄与した。 - 平成27年度から実施してきた本事業による修理修景物件は修理が25事業・17件、修景が5事業・3件となった。 - 重伝建の経過報告には約70名の参加があり、今後の整備の進め方等について意見、提案があった。 【今後の方向性】 - 重伝建地区の環境整備を図るため、引き続き伝統的建造物等の修理修景事業を進める。 - 保存計画に掲げた稲荷山地区の活性化を図るためには、地区住民の意見を反映した施設整備、活性化策の検討と実施が必要である。
決 算 額 (円)																																							
21,717,310																																							
節 別 内 訳 (円)																																							
報酬																																							
給料、職員 手当等	3,941,000																																						
報償費																																							
旅費	56,660																																						
需用費																																							
役務費																																							
委託料	475,200																																						
使用料及び 賃借料																																							
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産購 入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補 助及び交付 金	17,244,450																																						
扶助費																																							
補償、補填 及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td>7,990,000</td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td>479,000</td></tr> <tr> <td>地方債</td><td></td></tr> <tr> <td>その他</td><td>2,422,000</td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>10,826,310</td></tr> </table>	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金	7,990,000	県支出金	479,000	地方債		その他	2,422,000	一般財源	10,826,310																											
財 源 内 訳 (円)																																							
国庫支出金	7,990,000																																						
県支出金	479,000																																						
地方債																																							
その他	2,422,000																																						
一般財源	10,826,310																																						
【会計区分】 一般会計																																							

事業名	武水別神社神宮松田邸管理運営事業	担当課名	歴史文化財センター
-----	------------------	------	-----------

基本目標Ⅱ Ⅱ－１ 施策１－１

事業費	主要な施策の成果等																																																		
<table border="1"> <tr> <th colspan="2">決 算 額 (円)</th></tr> <tr> <td colspan="2">14,410,185</td></tr> <tr> <th colspan="2">節 別 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>報酬</td><td>606,000</td></tr> <tr> <td>給料、職員 手当等</td><td>5,668,973</td></tr> <tr> <td>報償費</td><td>90,000</td></tr> <tr> <td>旅費</td><td></td></tr> <tr> <td>需用費</td><td>2,318,583</td></tr> <tr> <td>役務費</td><td>31,460</td></tr> <tr> <td>委託料</td><td>2,679,053</td></tr> <tr> <td>使用料及び 賃借料</td><td>62,316</td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td>2,648,800</td></tr> <tr> <td>原材料費</td><td></td></tr> <tr> <td>公有財産購 入費</td><td></td></tr> <tr> <td>備品購入費</td><td>275,000</td></tr> <tr> <td>負担金、補 助及び交付 金</td><td>30,000</td></tr> <tr> <td>扶助費</td><td></td></tr> <tr> <td>補償、補填 及び賠償金</td><td></td></tr> <tr> <td>公課費</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">財 源 内 訳 (円)</th></tr> <tr> <td>国庫支出金</td><td>1,287,000</td></tr> <tr> <td>県支出金</td><td></td></tr> <tr> <td>地方債</td><td>1,100,000</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>136,100</td></tr> <tr> <td>一般財源</td><td>11,887,085</td></tr> </table> 【会計区分】 一般会計	決 算 額 (円)		14,410,185		節 別 内 訳 (円)		報酬	606,000	給料、職員 手当等	5,668,973	報償費	90,000	旅費		需用費	2,318,583	役務費	31,460	委託料	2,679,053	使用料及び 賃借料	62,316	工事請負費	2,648,800	原材料費		公有財産購 入費		備品購入費	275,000	負担金、補 助及び交付 金	30,000	扶助費		補償、補填 及び賠償金		公課費		財 源 内 訳 (円)		国庫支出金	1,287,000	県支出金		地方債	1,100,000	その他	136,100	一般財源	11,887,085	【事業目的】 ○市内に伝来した史資料の収集・保管・調査研究を行い、その成果を企画展や関連事業を通して地域に還元し文化伝承や郷土への愛着の深化を図ると共に、地域の活性化及び市の観光拠点となる施設を目指す。 【実績】 [展示・イベント関係] ○年間入館者数 611 人（週 3 日開館） ○松田邸周知のため、6 月～8 月の隔週土曜日にガイドツアーを実施（参加者延べ 13 人） ○親子連れをターゲットにした七夕イベント（笹かざり・お話し会）を実施（8/2～18。参加者延べ 105 人〈一般・高校生 55 人、中学生以下 50 人〉） ○購入した武水別神社流出文書を展示する企画展を開催（会期 11/22～12/22。会期中入館者 94 人） ○企画展関連事業講演会を実施（11/30。参加者 31 人） ○県外古書店に流出した武水別神社関係古文書 43 点購入 [施設管理] ○松田邸エントランスにつながる道路の舗装工事を実施 ○エントランスにスロープを設置 ○県道沿い及び東側堀跡前に誘導サインを設置 【成果等】 ○七夕イベントは、親子連れの増加や地域住民が触れ合える場となった。 ○地域の古文書流出に対して市民も危機意識を持っていることを確認できた（講演会では当日飛込参加が 11 人） ○流出古文書を購入し史資料の保全を図ることができた。 ○未舗装から石畳風舗装とすることで、周囲の歴史的景観に調和した街なみ環境を整備できた。 ○一部バリアフリー化し、高齢者や車イスの来館者にも配慮することができた。 【今後の方向性】 ○七夕イベントは松田邸の年中行事として定着するよう引き続き進めていく。 ○アンケート意見等を踏まえ、市民の興味関心を引く企画展を開催し集客につなげる。 ○企画展とは別に自主講座を開講し、市民の学びたい意欲にこたえていけるような施設を目指していく。 ○企画展・イベント共に話題性（大河ドラマや歴史・文化財に関わるニュース等）に留意した企画となるよう努める。
決 算 額 (円)																																																			
14,410,185																																																			
節 別 内 訳 (円)																																																			
報酬	606,000																																																		
給料、職員 手当等	5,668,973																																																		
報償費	90,000																																																		
旅費																																																			
需用費	2,318,583																																																		
役務費	31,460																																																		
委託料	2,679,053																																																		
使用料及び 賃借料	62,316																																																		
工事請負費	2,648,800																																																		
原材料費																																																			
公有財産購 入費																																																			
備品購入費	275,000																																																		
負担金、補 助及び交付 金	30,000																																																		
扶助費																																																			
補償、補填 及び賠償金																																																			
公課費																																																			
財 源 内 訳 (円)																																																			
国庫支出金	1,287,000																																																		
県支出金																																																			
地方債	1,100,000																																																		
その他	136,100																																																		
一般財源	11,887,085																																																		

事業名	名勝姨捨整備事業	担当課名	歴史文化財センター
-----	----------	------	-----------

基本目標Ⅱ Ⅱ－1 施策1－1

事業費	主要な施策の成果等																																																		
<table border="1"> <tr><td colspan="2">決 算 額 (円)</td></tr> <tr><td colspan="2">5,754,614</td></tr> <tr><td colspan="2">節 別 内 訳 (円)</td></tr> <tr><td>報酬</td><td></td></tr> <tr><td>給料、職員 手当等</td><td>1,689,000</td></tr> <tr><td>報償費</td><td>44,100</td></tr> <tr><td>旅費</td><td>193,514</td></tr> <tr><td>需用費</td><td></td></tr> <tr><td>役務費</td><td></td></tr> <tr><td>委託料</td><td>2,530,000</td></tr> <tr><td>使用料及び 賃借料</td><td></td></tr> <tr><td>工事請負費</td><td>1,298,000</td></tr> <tr><td>原材料費</td><td></td></tr> <tr><td>公有財産購 入費</td><td></td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr><td>負担金、補 助及び交付 金</td><td></td></tr> <tr><td>扶助費</td><td></td></tr> <tr><td>補償、補填 及び賠償金</td><td></td></tr> <tr><td>公課費</td><td></td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td colspan="2">財 源 内 訳 (円)</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td>1,914,000</td></tr> <tr><td>県支出金</td><td>114,000</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>1,700,000</td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>2,026,614</td></tr> </table> 【会計区分】 一般会計	決 算 額 (円)		5,754,614		節 別 内 訳 (円)		報酬		給料、職員 手当等	1,689,000	報償費	44,100	旅費	193,514	需用費		役務費		委託料	2,530,000	使用料及び 賃借料		工事請負費	1,298,000	原材料費		公有財産購 入費		備品購入費		負担金、補 助及び交付 金		扶助費		補償、補填 及び賠償金		公課費		財 源 内 訳 (円)		国庫支出金	1,914,000	県支出金	114,000	地方債	1,700,000	その他		一般財源	2,026,614	【事業目的】 - 日本遺産の構成文化財であり、重要文化的景観に選定されている「姨捨の棚田」での耕作を維持、保存するための整備を実施する 【実績】 - 令和4年3月策定の「姨捨の棚田」整備計画に基づき、長尾根地区の管理道（農道）整備を実施した。 長尾根地区測量・実施設計 A=0.15 km² 管理道（農道）舗装 L=20m - 令和5年8月に発生した棚田畦畔の災害復旧状況について、「姨捨の棚田整備委員会」の現地調査を受け、「概ね妥当」との見解をいただいた。（令和6年8月開催） 【成果等】 - 姨捨の棚田での耕作条件の改善を図ることができ、耕作維持に寄与することができた。 - 災害復旧にあたっては、土被の畦畔である特徴を維持する新たな工法について、整備委員会の確認をいただくことができた。 【今後の方向性】 - 姨捨の棚田での耕作を維持し、日本遺産の構成文化財として保存・活用を図るため、関係各課と連携し、整備計画に基づいた事業を実施していく。 - 長尾根地区管理道整備は令和7年度も引き続き実施し、耕作条件の緩和を図る。 - 日本遺産の構成文化財として活用を図るため、展望駐車場（ビューポイント）整備事業を進めて行く。
決 算 額 (円)																																																			
5,754,614																																																			
節 別 内 訳 (円)																																																			
報酬																																																			
給料、職員 手当等	1,689,000																																																		
報償費	44,100																																																		
旅費	193,514																																																		
需用費																																																			
役務費																																																			
委託料	2,530,000																																																		
使用料及び 賃借料																																																			
工事請負費	1,298,000																																																		
原材料費																																																			
公有財産購 入費																																																			
備品購入費																																																			
負担金、補 助及び交付 金																																																			
扶助費																																																			
補償、補填 及び賠償金																																																			
公課費																																																			
財 源 内 訳 (円)																																																			
国庫支出金	1,914,000																																																		
県支出金	114,000																																																		
地方債	1,700,000																																																		
その他																																																			
一般財源	2,026,614																																																		

事業名	千曲川ハーフマラソン事業	担当課名	スポーツ課
-----	--------------	------	-------

基本目標Ⅰ Ⅰ－２ 施策２－２

事業費		主要な施策の成果等					
決 算 額 (円)		【事業目的】					
17,642,798		●健康増進、交流人口の増加及び千曲市の魅力発信。					
節 別 内 訳 (円)		●1年の走り納めの大会として位置づけ、千曲川、紅葉などの自然を感じながら走ったあとは、千曲市の観光資源である戸倉上山田温泉で疲れを癒してもらう。					
報酬		【実績】					
給料、職員手当等	6,756,000	●開催日 令和6年11月17日（日）					
報償費		●エントリー数					
旅費		種 目	エントリー数	前年比	備 考（参加地域内訳）		
需用費					市内	県内	県外
役務費		ハーフマラソン	1,507名	▲31名	210名	1,077名	220名
委託料		ファミリーマラソン	108組 230名	+58組 +104名	34組 74名	70組 148名	4組 8名
使用料及び賃借料		計	1,737名	+73名	284名	1,225名	228名
工事請負費		●大会ゲストとして、オリンピック金メダリスト小平奈緒さん、千曲市PR大使鬼越トマホーク参加					
原材料費		●一重山太鼓、五加こども太鼓、キューティーアングスチアリーディングチームによる沿道でのランナー応援を実施					
公有財産購入費		●姨捨棚田米のおにぎり、更級みそを使用した豚汁を配布					
備品購入費		●参加者、ボランティア等運営スタッフに年末まで利用可能な市内8施設の日帰り温泉無料入浴券を配布し利用率は約64%					
負担金、補助及び交付金	10,886,798	【成果等】					
扶助費		●エントリー数は前年を上回り、ほぼ定員に達した。 （過去3年募集定員に対し約97%以上のエントリー率を維持）					
補償、補填及び賠償金		●ファミリーマラソンの部は定員を超えるエントリーとなり、親子でスポーツをするきっかけづくりとなった。					
公課費		●ランナーを対象にスマートフォン（QRコード）で11項目に回答する満足度調査を実施。大会について「満足」「どちらかといえば満足」との回答が88.7%、「来年も参加したい」「できれば参加したい」との回答は98.2%					
財 源 内 訳 (円)		【今後の方向性】					
国庫支出金		●大会の満足度を更に向上させるには、大会のスムーズな運営はもちろん、サービス（無料温泉券、棚田米おにぎり、豚汁、参加賞Tシャツ、タオル等）の質を維持していくことは必須					
県支出金		エントリー料を上げずに大会運営をする為には、募集定員に対し現状のエントリー率97%を下回らないようにすることが必要であり、次年度以降もあらゆる媒体を活用し広報、PR活動を積極的に行う。					
地方債							
その他	8,000,000						
一般財源	9,642,798						
【会計区分】 一般会計							
※負担金として実行委員会へ支出							
※その他財源はスポーツ振興くじ助成金							

事業名	国スポ・全障スポ開催準備事業	担当課名	国スポ・全障スポ推進室
-----	----------------	------	-------------

基本目標Ⅰ Ⅰ－２ 施策２－２

事業費	主要な施策の成果等																																						
<table border="1"> <tr><td colspan="2">決 算 額 (円)</td></tr> <tr><td colspan="2">9,990,166</td></tr> <tr><td colspan="2">節 別 内 訳 (円)</td></tr> <tr><td>報酬</td><td></td></tr> <tr><td>給料、職員 手当等</td><td>9,008,000</td></tr> <tr><td>報償費</td><td></td></tr> <tr><td>旅費</td><td>113,600</td></tr> <tr><td>需用費</td><td>139,766</td></tr> <tr><td>役務費</td><td>8,800</td></tr> <tr><td>委託料</td><td></td></tr> <tr><td>使用料及び 賃借料</td><td></td></tr> <tr><td>工事請負費</td><td></td></tr> <tr><td>原材料費</td><td></td></tr> <tr><td>公有財産 購入費</td><td></td></tr> <tr><td>備品購入費</td><td></td></tr> <tr><td>負担金、補 助及び交付 金</td><td>720,000</td></tr> <tr><td>扶助費</td><td></td></tr> <tr><td>補償、補填 及び賠償金</td><td></td></tr> <tr><td>公課費</td><td></td></tr> </table>	決 算 額 (円)		9,990,166		節 別 内 訳 (円)		報酬		給料、職員 手当等	9,008,000	報償費		旅費	113,600	需用費	139,766	役務費	8,800	委託料		使用料及び 賃借料		工事請負費		原材料費		公有財産 購入費		備品購入費		負担金、補 助及び交付 金	720,000	扶助費		補償、補填 及び賠償金		公課費		【事業目的】 2028年(令和10年)に長野県で開催予定の第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会(信州やまなみ国スポ・全障スポ)の競技会を円滑に運営するための準備を行う。本市では、体操(新体操)、ハンドボール及びボッチャの3競技を実施する予定である。 【実績】 ○会議 ・ハンドボール競技 第1回連絡調整会議(8/27 戸倉体育館) ・千曲市準備委員会 設立総会・第1回総会(10/7 市庁舎) ・千曲市準備委員会 第1回常任委員会(2/3 市庁舎) ○啓発事業 ・ボッチャ競技審判員スキルアップ講習会 (6/30 ことぶきアリーナ千曲) 【参加者数】受講者41名、講師・スタッフ15名 ・2024Fujin-Raijin(風神雷神)BOCCIA LEAGUE -3rd- 長野大会 (7/27～28 ことぶきアリーナ千曲) 【参加者数】選手69名、審判・スタッフ93名 ・第33回U-15ジュニアセレクトカップ ハンドボール大会 (12/20～24 ことぶきアリーナ千曲ほか3会場) 【参加チーム数】男女各24チーム(全国9ブロックから推薦) ○視察調査・説明会 ・わた SHIGA 輝く国スポ2025 競技別リハーサル大会 体操(新体操)競技(6/7～9 滋賀県大津市) ハンドボール競技(8/8～10 滋賀県彦根市、近江八幡市) ・SAGA2024 国スポ・全障スポ ハンドボール競技(10/9～11 佐賀県神埼市、吉野ヶ里町) ボッチャ競技(10/25～27 佐賀県嬉野市) 事業概要説明会(12/18～20 佐賀市/12/22～24 神埼市) 【成果等】 ・準備委員会の設立により、競技会開催の準備及び大会運営を行う体制ができた。 ・啓発事業を通し、全国の選手や関係者への周知、市民への広報に取り組んだ。 ・大会運営・会場視察を通し、開催市担当職員と意見交換するなど、会場準備や広報、おもてなしに必要な情報収集を行った。 【今後の課題】 ・準備業務が膨大かつ多岐にわたるため、早い段階から計画的に取り組むことが必要である。 ・市民の関心や参加意欲を高めるため、計画的かつ効果的な広報活動の展開が求められる。 ・競技団体、共催市及び関係機関との連携・協力が不可欠であるため、情報共有や意思疎通を図り開催準備を進める。
決 算 額 (円)																																							
9,990,166																																							
節 別 内 訳 (円)																																							
報酬																																							
給料、職員 手当等	9,008,000																																						
報償費																																							
旅費	113,600																																						
需用費	139,766																																						
役務費	8,800																																						
委託料																																							
使用料及び 賃借料																																							
工事請負費																																							
原材料費																																							
公有財産 購入費																																							
備品購入費																																							
負担金、補 助及び交付 金	720,000																																						
扶助費																																							
補償、補填 及び賠償金																																							
公課費																																							
<table border="1"> <tr><td colspan="2">財 源 内 訳 (円)</td></tr> <tr><td>国庫支出金</td><td></td></tr> <tr><td>県支出金</td><td></td></tr> <tr><td>地方債</td><td></td></tr> <tr><td>その他</td><td></td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>9,990,166</td></tr> </table>	財 源 内 訳 (円)		国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	9,990,166																											
財 源 内 訳 (円)																																							
国庫支出金																																							
県支出金																																							
地方債																																							
その他																																							
一般財源	9,990,166																																						
【会計区分】 一般会計																																							

第二次千曲市教育振興基本計画（後期計画）成果指標

基本目標Ⅰ 千曲っ子が元気に育つ、生涯学びのまち

節	達成方針	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		R4実績値		R5実績値		R6実績値		目標値		R4達成率	R5達成率	R6達成率	進捗状況 下記より ・目標達成・きわめて順調 ・順調・やや低調・低調	①令和6年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等	施策
2【教育】 一人ひとりの個性を尊重し、生きる力を育む教育環境をつくる		児童生徒の学力や学習の状況(国語、算数・数学の平均正解率) (国語、算数・数学)	「全国学力学習状況調査」における教科別の平均正答率の、全国・長野県との比較	上昇 ↗	(小学校) 各教科、 全国・長野県と同程度	令和3年度	各教科、 全国・長野県と同程度	令和4年度	各教科、 全国・長野県をやや下回る	令和5年度	各教科、 全国・長野県と同程度	令和6年度	各教科、 全国・長野県を上回る	令和10年度	－	－	－	きわめて順調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②(国語)効果的に話したり書いたりして伝える力を見る問題でやや課題がある。 (算数)速さの意味について理解を深める問題で課題がある。 ③学力向上推進委員会にて各校の課題を共有し、取り組みを支援する。	教育総務課	継続的な全国規模の調査により基礎学力の定着度を表す	全国学力学習状況調査結果	1-1-1
					(中学校) 各教科、 全国・長野県と同程度	令和3年度	各教科、 全国・長野県と同程度	令和4年度	各教科、 全国・長野県と同程度	令和5年度	各教科、 全国・長野県を上回る	令和8年度	－	－	－	きわめて順調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②(国語)発言で指し示している図・資料の適切な部分を選択する問題でやや課題がある。 (数学)データの分布の傾向を捉え、判断の理由を説明する問題で課題がある。 ③学力向上推進委員会にて各校の課題を共有し、取り組みを支援する。	教育総務課	継続的な調査により学習習慣の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	1-1-1		
		家で、自分で計画を立てて勉強している	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↗	(小学校) % 79.4	令和3年度	72.5 %	令和4年度	76.6 %	令和5年度	－ %	令和6年度	基準値を上回る %	令和8年度	91.3%	96.5%	－	今年度質問項目から外れたため、実績値なし。 「学校の授業以外に平日1時間以上勉強していますか」に変更された。 (参考 小学校:45.1%) ①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②平日の家庭学習時間にやや課題がある。 ③家庭学習の方法や内容の指導や家庭学習につながるような毎日の授業についてより一層の工夫・改善をして、自ら計画的に学習を進めていく態度の育成に努める。	教育総務課	継続的な調査により学習習慣の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	1-1-1	
					(中学校) % 63.4	令和3年度	61.6 %	令和4年度	57.2 %	令和5年度	－ %	令和6年度	基準値を上回る %	令和8年度	97.2%	90.2%	－	今年度質問項目から外れたため、実績値なし。 「学校の授業以外に平日1時間以上勉強していますか」に変更された。 (参考 中学校:65.7%) ①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②平日の家庭学習時間にやや課題がある。 ③家庭学習の方法や内容の指導や家庭学習につながるような毎日の授業についてより一層の工夫・改善をして、自ら計画的に学習を進めていく態度の育成に努める。	教育総務課	継続的な調査により自己有用感の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	1-1-1	
		自分にはよいところがある	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↗	(小学校) % 81.2	令和3年度	79.4 %	令和4年度	87.4 %	令和5年度	87.8 %	令和6年度	基準値を上回る %	令和8年度	97.8%	107.6%	108.1%	目標達成	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②学校の先生と温かく良好な関係のなかで、自分を精いっぱい伸ばすことを継続する。 ③様々な場面で自己有用感を持たせる指導・授業に取り組む。	教育総務課	継続的な調査により自己有用感の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	1-1-1
					(中学校) % 78.2	令和3年度	81.8 %	令和4年度	83.1 %	令和5年度	86.9 %	令和6年度	基準値を上回る %	令和8年度	104.6%	106.3%	111.1%	目標達成	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②学校の先生と温かく良好な関係のなかで、自分を精いっぱい伸ばすことを継続する。 ③様々な場面で自己有用感を持たせる指導・授業に取り組む。	教育総務課	継続的な調査により自己有用感の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	1-1-1
		将来の夢や目標を持っている	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↗	(小学校) % 82.9	令和3年度	86.5 %	令和4年度	82.2 %	令和5年度	84.8 %	令和6年度	基準値を上回る %	令和8年度	104.3%	99.2%	102.2%	目標達成	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②キャリア教育やふるさと学習の計画的に推進する。 ③キャリアパスポートに自分の成長を記録していく。	教育総務課	継続的な調査により将来に関する意識の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	1-1-1
					(中学校) % 73.1	令和3年度	67.6 %	令和4年度	68.6 %	令和5年度	67.9 %	令和6年度	基準値を上回る %	令和8年度	92.5%	93.8%	92.8%	順調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②キャリア教育やふるさと学習の計画的に推進する。 ③キャリアパスポートに自分の成長を記録していく。	教育総務課	継続的な調査により自己有用感の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	1-1-1
		学校に行くのは楽しい	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↗	(小学校) % 86	令和3年度	88.5 %	令和4年度	87.9 %	令和5年度	85.2 %	令和6年度	基準値を上回る %	令和8年度	102.9%	102.2%	99.0%	きわめて順調	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②授業が「好き・よくわかる」と思ってもらえるような授業が重要。 ③よく分かる授業、その教科の面白さが実感できる授業の工夫・改善を行う。	教育総務課	継続的な調査により自己有用感の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	1-1-1 1-1-2
					(中学校) % 85.3	令和3年度	85.8 %	令和4年度	82.4 %	令和5年度	88.7 %	令和6年度	基準値を上回る %	令和8年度	100.6%	96.6%	103.9%	目標達成	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②授業が「好き・よくわかる」と思ってもらえるような授業が重要。 ③よく分かる授業、その教科の面白さが実感できる授業の工夫・改善を行う。	教育総務課	継続的な調査により自己有用感の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	1-1-1 1-1-2

第二次千曲市教育振興基本計画（後期計画）成果指標

		指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		R4実績値		R5実績値		R6実績値		目標値		R4達成率	R5達成率	R6達成率	進捗状況	①令和6年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等	施策
		不登校児童生徒在籍比	不登校児童生徒在籍比率	減少 ↓	(小学校) 1.52% (令和3年度) ＜参考＞ 県:1.56% 国:5.00%	令和3年度	1.56 %	令和4年度	2.45 %	令和5年度	2.35 %	令和6年度	1.30% (令和10年度) %	令和10年度	83.0%	53.0%	55.0%	やや低調	①千曲市生徒指導委員会の検討内容を活かして各小中学校の不登校対応を推進。 ②支援につながない児童生徒をいかに減らしていけるかが課題である。 ③相談窓口の周知やチャイルドサポーター等のアウトリーチ支援を紹介する。	教育総務課	小・中学校における児童生徒の不登校状況を表す	小・中学校における児童生徒全体に対する不登校児童生徒在籍比(文科省調査)	1-1-2
			不登校児童生徒在籍比率	減少 ↓	(中学校) 6.09% (令和3年度) ＜参考＞ 県:5.58% 国:5.00%	令和3年度	7.47 %	令和4年度	8.39 %	令和5年度	8.84 %	令和6年度	5.00% (令和10年度) %	令和8年度	67.0%	60.0%	57.0%	やや低調	①千曲市生徒指導委員会の検討内容を活かして各小中学校の不登校対応を推進。 ②支援につながない児童生徒をいかに減らしていけるかが課題である。 ③相談窓口の周知やチャイルドサポーター等のアウトリーチ支援を紹介する。	教育総務課	小・中学校における児童生徒の不登校状況を表す	小・中学校における児童生徒全体に対する不登校児童生徒在籍比(文科省調査)	
		不登校児童生徒が学校内外で相談・指導を受けた割合	不登校児童生徒が学校内外で相談・指導を受けた割合	上昇 ↑	(小・中学校) 76.1% (令和3年度) ＜参考＞ 県:66.6% 国:63.7%	令和3年度	87.8 %	令和4年度	75.8 %	令和5年度	78.7 %	令和6年度	基準値を上回る (令和10年度) %	令和8年度	100%	95.0%	100.0%	目標達成	①千曲市生徒指導委員会の検討内容を活かして各小中学校の不登校対応を推進。 ②支援につながない児童生徒をいかに減らしていけるかが課題である。 ③相談窓口の周知やチャイルドサポーター等のアウトリーチ支援を紹介する。	教育総務課	不登校児童生徒との相談・指導状況を表す	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(文科省調査)	1-1-2
		住んでいる地域の行事に参加している	「全国学力学習状況調査」における該当項目に、「当てはまる」、「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の基準値との比較	上昇 ↑	(小学校) % 75.3	令和3年度	81.2 %	令和4年度	78.6 %	令和5年度	- %	令和6年度	基準値を上回る %	令和8年度	107.8%	104.4%	-		今年度質問項目から外れたため、実績値なし。 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に変更された。(参考 小学校:86.1%) ①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②地域のあるべき姿について考える機会を継続する。 ③キャリア教育の充実やコミュニティースクールの推進により、地域や社会に関わる機会や体験の機会を増やす。	教育総務課			1-3-2
					(中学校) % 72.4	令和3年度	68.2 %	令和4年度	57.7 %	令和5年度	- %	令和6年度	基準値を上回る %	令和8年度	94.2%	79.7%	-		今年度質問項目から外れたため、実績値なし。 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」に変更された。(参考 中学校:86.4%) ①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②地域のあるべき姿について考える機会を継続する。 ③キャリア教育の充実やコミュニティースクールの推進により、地域や社会に関わる機会や体験の機会を増やす。	教育総務課	継続的な調査により地域や社会に関わる活動の度合いを表す	全国学力学習状況調査(質問紙調査)結果	
3	【生涯学習】 学びと交流を進め、人生を豊かにする	公民館や図書館などで開催する各種学級・講座への参加者数	公民館や図書館などで開催する各種学級・講座への参加者数	上昇 ↑	18,958 人	令和元年度	11,593 人	令和4年度	14,399 人	令和5年度	14,952 人	令和6年度	24,000 人	令和8年度	48.3%	60.0%	62.3%	順調	①各公民館、図書館、生涯学習係で市民向けに各種講座を実施。 ②コロナ禍以降の市民向け講座の内容の検討、講師確保 ③引き続き市民向け講座の内容を充実させて、生涯学習を推進する。	生涯学習課	生涯学習の場の提供状況を表す	実施状況報告などにより把握	2-1-1
		「生涯学習人材バンク」新規登録人数	「生涯学習人材バンク」新規登録人数	上昇 ↑	2 人	令和2年度	0 人	令和4年度	0 人	令和5年度	0 人	令和6年度	5 人	毎年度	0.0%	0.0%	0.0%	低調	①専門知識や特殊技能を持つ千曲市民を希望する方に紹介をして地域づくりに役立ててもらうことを目的として実施。 ②事業の認知度が低いため周知方法が課題。 ③事業の認知度を上げるため市のHPやSNSで事業の周知を図る。	生涯学習課	生涯学習のための講師人材登録者数を表す	実登録者数をカウント	
	【スポーツ振興】 スポーツを通じ、心身の健康と活力あるまちを目指す	千曲川ハーフマラソンへのエントリー者数	千曲川ハーフマラソンへのエントリー者数	上昇 ↑	1,640 人	令和元年度	1,485 人	令和4年度	1,664 人	令和5年度	1,737 人	令和6年度	2,000 人	令和8年度	74.3%	83.2%	86.9%	順調	①姨捨棚田米のおにぎり、更級みその豚汁を参加者に配布し、地元特産物をPRした。 ②参加者からは高い満足度が得られている一方、参加者の9割が県内からの参加者であり、より広域を目指した交流人口の獲得が課題。 ③市出身の観光大使とタイアップしたPRIによる知名度の向上、温泉等の地域の資源を生かした大会の更なる魅力度向上と交流人口の増加を図る。	スポーツ課	スポーツイベントの開催による交流人口の増加に対する指標	大会参加申込者の集計による	3-1-1
4		成人の運動実施率	20歳以上の市民1,000人にアンケートを行い、週に1回以上運動をしていると回答した人の割合	上昇 ↑	43.8 %	平成30年度	46.1 %	令和4年度	44.5 %	令和5年度	45.6 %	令和6年度	65.0 %	令和8年度	70.9%	68.5%	70.2%	順調	①市スポーツ協会と連携しスポーツ振興を目的とした活動を支援するとともに、スポーツを行う環境の整備・提供を目とした取り組みを行った。 ②運動したい希望はあるが、場所や機会等の条件が合わず運動できていない人へのきかけづくりをいかに行かかが課題である。 ③従来のスポーツよりもより参加へのハードルの低いニュースポーツの普及啓発、スポーツ推進委員や地域のスポーツ団体と連携しスポーツへの機会の提供等を通しきかけづくりに取り組む。	スポーツ課	健康運動の普及と推進の取組状況を表す	市民アンケートの集計による	3-1-1

第二次千曲市教育振興基本計画（後期計画）成果指標

基本目標Ⅱ 輝かしい歴史文化の伝承と、新たな文化を創造するまち																							
節	達成方針	指標名	指標の意味・内容	目指す方向	基準値 データ年度		R4実績値		R5実績値		R6実績値		目標値		R4達成率	R5達成率	R6達成率	進捗状況	①令和6年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等	施策
1	【歴史・文化財】 歴史・文化的遺産の保全・活用を進め、文化都市を形成する	文化財保護事業実施件数(累計)	市民、文化財所有者による文化財保護に取り組んでいる活動を示す件数	上昇↗	4 件	令和3年度	5 件	令和4年度	7 件	令和5年度までの累計	11 件	令和6年度までの累計	12 件	令和8年度末までの累計	41.7%	58.3%	91.7%	きわめて順調	①市指定文化財等の修理等、4件に補助を行った。 ②指定文化財の修理等に関しては、前年度以前に相談を受けて予算化を図る必要があるため、実施に時間がかかる。 ③引き続き、指定文化財等保護の周知を図っていく。	歴史文化財センター	指定等文化財保存に対する市民の取組状況を表す	指定等文化財保護事業に対する補助金交付件数	1-1
		国・県・市指定等文化財件数	国・県・市指定等文化財件数	上昇↗	149 件	令和3年度	150 件	令和4年度	150 件	令和5年度までの累計	151 件	令和6年度までの累計	154 件	令和8年度末までの累計	97.4%	97.4%	98.1%	きわめて順調	①市指定文化財諮問物件の調査を、市文化財保護審議委員会に依頼した。 ②専門的な知識を持つ学識経験者による調査に時間がかかる。 ③諮問物件の調査を進め、文化財指定を行っていく。	歴史文化財センター	文化財保護の取組状況を表す	指定等文化財件数	1-1
		博物館・史跡公園の入館(場)者数	森將軍塚古墳館・さらしなの里歴史資料館・城山史跡公園の年間入館(場)者数	上昇↗	25,350 人	令和2年度	33,504 人	令和4年度	31,116 人	令和5年度	25,645 人	令和6年度	35,000 人	令和8年度	95.7%	88.9%	73.3%	やや低調	①企画展や歴史講座を開催し、入館者の増を図った。 ②森將軍塚古墳館、さらしなの里歴史資料館の入館者はほぼ前年並みであったが、城山史跡公園は県道通行止めの影響で長期間休園を余儀なくされ、入場者が大幅減となった。 ③企画展、講座、イベント等、魅力ある取り組みを実施し、入館者の増を図る。	歴史文化財センター	文化財施設の活用状況を表す	森將軍塚古墳館、さらしなの里歴史資料館、城山史跡公園の入館(場)者数	1-2
2	【景観形成】 まち全体が調和された、景観の美しいまちをつくる	建造物修理・修景の件数	稲荷山伝建地区の建物修理・修景件数	上昇↗	修理 11 件	令和2年度	15 件	令和4年度	17 件	令和5年度までの累計	17 件	令和6年度までの累計	25 件	令和8年度までの累計	60.0%	68.0%	68.0%	順調	①伝統的建造物修理事業として継続事業2件の修理事業に補助金交付を行った。 ②稲荷山重伝建地区の伝統的建造物は規模の大きなものがあり、単年度で修理が完了しないものがある。このため、複数年度で事業を実施せざるを得ない建物が増えている。 ③引き続き、伝統的建造物の修理に補助を行っていく。	歴史文化財センター	歴史的まちなみ保存への市民の取組状況を表す	稲荷山重伝建地区における建造物等修理・修景事業への補助金交付延べ件数	なし
					修景 3 件		3 件		3 件		3 件		7 件		42.9%	42.9%	42.9%	やや低調	①修景事業に関する相談があり、事業化に向け協議を行った。 ②修景事業に対する補助制度の周知が不十分。 ③制度の周知と取り組みを呼び掛けている。				
3	【伝統文化】 伝統的な行事や生活文化を次代に伝承する	郷土料理の提供数	市内学校での講習会の実施による、次世代へ郷土料理の伝承状況を表す	維持→	小中学校 13 校	令和2年度	13 校	令和4年度	5 校	令和5年度	4 校	令和6年度	13 校	令和8年度	100.0%	38.5%	30.8%	やや低調	①各学校から依頼があった際に対応し、実施。 ②同じ学校で活動を複数回行っており、学校数でみるとかなり少ない。 ③こちらから呼びかける等工夫をし、引き続き実施していく。	農林課	次世代へ郷土料理の伝承状況を表す	小中学校での郷土料理講習会の実施校数	2-1
		千曲市食の文化祭入場者数	千曲市食の文化祭入場者数を表す	維持→	600 人	平成30年度	58 人	令和4年度	400 人	令和5年度	300 人	令和6年度	600 人	令和8年度	9.7%	66.7%	50.0%	やや低調	①食の文化祭について市報に掲載、各種メディアへ投げ込み。 ②お客様の年齢層が40代以上に集中してしまった。 ③若い世代にも知ってもらうため、市SNSで積極的に発信していきたい。	農林課	郷土の食文化伝承活動の取組状況を表す	食の文化祭参加者数	2-1
		神楽保存会数	市内の神楽保存会数	維持→	30 団体	令和2年度	30 団体	令和4年度	30 団体	令和5年度	30 団体	令和6年度	30 団体	令和8年度	100.0%	100.0%	100.0%	目標達成	①保存会活動を停止したところはなかった。 ②高齢化により存続が難しくなっている団体がある。 ③民俗文化財として指定の検討を進め、保護対策を講じる。	歴史文化財センター	地域の伝統芸能に対する保存・伝承の状況を表す	市内の神楽保存会の数	2-2
4	【文化芸術】 豊かな心を育む文化芸術のまちをつくる	更埴文化会館、上山田文化会館、戸倉創造館の利用者数	各館のイベント入場者・貸館利用者の合計	上昇↗	176,210 人	平成30年度	91,627 人	令和4年度	125,712 人	令和5年度	106,856 人	令和6年度	180,000 人	令和8年度	50.9%	69.8%	59.4%	順調	①更埴文化会館改修工事のため全館休館5カ月、部分休館3カ月の期間があり、その間は戸倉・上山田文化会館を活用して事業を実施。 ②人口減少や地域コミュニティの希薄化によりイベント入場者数・貸館利用者ともに減少傾向であり、入場者数の伸びが期待できないこと。 ③魅力あるイベントの開催や情報の周知を図り、利用者の増加に取り組む。	文化課	文化施設の活用状況を表す	毎年度利用実績値の積算	3-1
		更埴文化会館、上山田文化会館、戸倉創造館の自主事業の件数	各館が自主事業として行ったイベントの件数	上昇↗	17 件	平成30年度	23 件	令和4年度	25 件	令和5年度	15 件	令和6年度	20 件	令和8年度	115.0%	125.0%	75.0%	順調	①地元文化芸術団体の自主事業を推進 ②少子高齢化等により参加団体の減少が見込まれること。 ③引き続き参加団体へのサポート等、継続的な事業実施に向けた取り組みを行う。	文化課	文化芸術活動の取組状況を表す	毎年度の主催、共催事業件数の積算	3-1
		更埴文化会館、上山田文化会館、戸倉創造館の自主事業の来場者数	自主事業23件の来場者数の合計	上昇↗	9,073 人	平成30年度	6,202 人	令和4年度	8,667 人	令和5年度	4,776 人	令和6年度	10,000 人	令和8年度	62.0%	86.7%	47.8%	やや低調	①自主事業の来場者確保に努めた ②参加団体の減少に伴い、関係者の来場も減少が見込まれること。 ③イベントの周知や新規参加団体の獲得に向け取り組みを行う。	文化課	文化芸術活動の取組状況を表す	毎年度の主催、共催事業来場者数の積算	3-1
		稲荷山宿・蔵し館、ふる里漫画館、アートまちかどの入場者数	各館の入場者・貸館利用者の合計	上昇↗	12,510 人	令和元年度	9,669 人	令和4年度	10,666 人	令和5年度	17,541 人	令和6年度	15,000 人	令和8年度	64.5%	71.1%	116.9%	目標達成	①新たな企画展を実施し、来場者数の増加を図った。 ②稲荷山宿・蔵し館(休館中)、ふるさと漫画館の活用が課題 ③情報の周知に取り組み入場者数の増加を図る。	文化課	文化施設の活用状況を表す	毎年度利用実績値の積算	3-1
5	【多文化共生】 個性や互いの文化を理解し、共に生きるまちをつくる	千曲万博の入場者数	千曲万博の入場者数	上昇↗	430 人	令和元年度	400 人	令和4年度	600 人	令和5年度	500 人	令和6年度	600 人	令和8年度	66.7%	100.0%	83.3%	きわめて順調	①市内外から広く協賛を募り、国際交流協会主体で多文化共生への理解を深めることができた。 ②協賛金の確保が課題。 ③周知方法を見直し、より多くの市民が参加出来るようにする。	生涯学習課	多文化共生事業への参加状況を表す	実入場者数をカウント	4-1 4-2

千曲っ子教育ビジョン 成果指標

基本施策1 子どもたちみんなが楽しく学べる学校をつくる																		
施策項目 1－1 教育活動の質の向上																		
達成方針	指 標		目指す 方向	計画時（H29）	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	5年後目標値	R4達成率	R5達成率	R6達成率	進捗状況 下記より ・目標達成・きわめて順調 ・順調・やや低調・低調	①令和6年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	・実績値把握方法 ・出典等	備考	千曲っ子ビ ジョンでの 施策
一人ひとりの個性を尊重し、生きる力を育む教育環境をつくる	※学習習慣 （家で授業の予習・復習をする）	小学校	上昇 ▲	全国をやや下回る程度	全国・長野県を上回る	全国をやや上回る程度	－	全国・長野県を上回る	91.30%	96.50%	－		今年度質問項目から外れたため、実績値なし 「学校の授業以外に平均1時間以上勉強していますか」に変更された。 （参考 小学校：45.1％ 中学校：65.7％） ①全国学力学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し実践した。 ②家庭での学習で、何をどう進めていくかが具体的にない面がある。 ③「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の内容や習慣化について指導、家庭学習につながる授業の工夫・改善を行う。	教育総務課	継続的な調査により学習習慣の度合いを表す	全国学力学習状況調査 （質問紙調査）		1-1-ア
		中学校	上昇 ▲	全国を下回る程度	全国・長野県と同程度	全国をやや上回る程度	－	全国・長野県を上回る	97.20%	90.20%	－	教育総務課						
	※児童生徒の学力や学習の状況	小学校	上昇 ▲	各教科、全国をやや上回る又は同程度	各教科、全国・長野県と同程度	各教科、全国・長野県をやや下回る	各教科、全国・長野県と同程度	全国・長野県より上回る	100.70%	94.30%	100.20%	目標達成	①全国学力・学習状況調査結果を各校で分析・考察し、改善策・向上策を策定し、実践した。 ②（国語）発言で指し示している図・資料の適切な部分を選択する問題でやや課題がある。 （数学）データの分布の傾向を捉え、判断の理由を説明する問題で課題がある。 ③学力向上推進委員会にて各校の課題を共有し、取り組みを支援する。	教育総務課	継続的な全国規模の調査により基礎学力の定着度を表す	全国学力学習状況調査		1-1-ア
		中学校	上昇 ▲	各教科、全国と同程度又はやや下回る	各教科、全国・長野県と同程度	各教科、全国・長野県と同程度	各教科、全国・長野県と同程度	全国・長野県より上回る	100%	96.70%	99.10%	きわめて順調		教育総務課				
	ICT教育の充実		上昇 ▲	推進計画策定	推進計画改定	計画の推進	計画の推進	計画の推進	100%	100%	100%	目標達成	①各校のGIGAスクール推進委員会を中心に一人一台端末の活用を進めた。 ②活用具合に学校ごとの差がある。 ③研修等により各校の活用を共有する。	教育総務課	ICT教育の進捗具合を表す	GIGAスクール構想5か年計画		1-1-カ
	施策項目 1－2 豊かな心・健やかな体の育成																	
	不登校児童生徒在籍比	小学校	減少 ▼	0.57%	1.56%	2.45%	2.35%	1.30%	83%	53%	55%	やや低調	①令和6年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典等	備考	千曲っ子ビ ジョンでの 施策
		中学校	減少 ▼	3.64%	7.47%	8.39%	8.84%	5.0%	67%	60%	57%	やや低調						
	※参考 国（R3） 小1.3、中5.0 県（R3） 小1.56、中5.58																	
	施策項目 1－3 教育環境の整備																	
高等教育機関（人材育成や産業振興、若年人口の交流と定着等）の誘致	指 標		目指す 方向	計画時（H29）	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	5年後目標値	R4達成率％	R5達成率％	R6達成率％	進捗状況 下記より ・目標達成・きわめて順調 ・順調・やや低調・低調	①令和6年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	・実績値把握方法 ・出典等	備考	千曲っ子ビ ジョンでの 施策
	高等教育機関（人材育成や産業振興、若年人口の交流と定着等）の誘致		上昇 ▲	ない	調査・研究	なし	清泉大学が市内に農学部開設を表明	調査・研究	－	－	50%	順調	①市内に清泉大学農学部（仮称）を開設することが決定された。 ②開設後の学生確保。 ③計画どおり令和9年4月開設に向けて大学側と協議、準備していく。	総合政策課 教育総務課	大学開設に向けた準備の状況を表す。	大学開設に向けた準備の状況		1-3-ア
	教職員の働き方改革の推進		上昇 ▲	教職員業務改善計画策定	教職員業務改計画の計画の推進	計画の推進	計画の推進	計画の推進	80%	80%	80%	順調	①中学校定期テスト採点支援システムの本格導入、中学校部活動地域移行推進。 ②各種教育支援ツールの導入検討、中学校部活動地域移行の完全移行。（令和8年度） ③必要な職場環境の改善に取り組む。	教育総務課	教職員の働き方改革の状況を表す。	教職員の勤務時間調査、ICT環境等の整備状況		1-3-イ
施策項目 1－4 安全安心な学校づくり																		
安全教育や危機管理意識の向上	指 標		目指す 方向	計画時（H29）	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	5年後目標値	R4達成率	R5達成率	R6達成率	進捗状況 下記より ・目標達成・きわめて順調 ・順調・やや低調・低調	①令和6年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	・実績値把握方法 ・出典等	備考	千曲っ子ビ ジョンでの 施策
	安全教育や危機管理意識の向上		上昇 ▲	年1回	各学校で安全教育や防災訓練を実施	各学校で安全教育や防災訓練を実施	各学校で安全教育や防災訓練を実施	防災計画及び避難所確保計画の推進	100%	100%	100%	目標達成	①各校での安全教育の実施、避難所開設訓練を実施。 ②危険箇所の計画的な解消。 ③継続的な訓練の実施。	教育総務課	安全教育や危機管理意識の状況を表す	各校での安全教育や防災訓練の実施状況		1-3-ア
	通学路の安全確保		上昇 ▲	千曲市通学路交通安全プログラムによる	――	合同点検の実施	合同点検の実施	プログラムの推進	80%	80%	80%	順調	①各小学校通学路の危険箇所を関係機関による合同点検を実施 ②危険箇所の計画的な解消 ③優先順位をつけ関係機関にて順次対応を進める	教育総務課	通学路の安全確保の状況を表す	通学路危険箇所の合同点検の実施状況		1-3-イ

基本施策2 学校・家庭・地域などが一体となった学校づくりを進める																	
施策項目 2－1 信頼される学校づくり																	
達成方針	指 標	目指す 方向	計画時（H29）	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	5年後 目標値	R4達成率	R5達成率	R6達成率	進捗状況 下記より ・目標達成・きわめて順調 ・順調・やや低調・低調	①令和6年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	・実績値把握方法 ・出典等	備考	千曲っ子ビ ジョンでの 施策
一人ひとりの個性を尊重し、生きる力を育む教育環境をつくる	地域に開かれた学校づくり	上昇 ▲	地域の人材活用	千曲型コミュニティスクールを推進	千曲型コミュニティスクールを推進	千曲型コミュニティスクールを推進	地域の人材育成	80%	80%	80%	順調	①地域コーディネータ研修会の実施 ②新規の地域人材の確保 ③各校での取組を行う中で、地域の協力者を増やす	教育総務課 生涯学習課	地域人材の活用状況を表す	研修会の実施、各校のコミュニティースクールの実施状況		2-1-ア
	評価制度を活かした学校づくり	上昇 ▲	学校評議員制度	学校運営委員会の実施	学校運営委員会の実施	学校運営委員会の実施	学校運営協議会	80%	80%	80%	順調	①各校で学校運営委員会の開催 ②地域や保護者の意見の活用 ③学校運営委員会を通じて意見を取り入れる	教育総務課 生涯学習課	評価制度を活かした学校づくりの状況を表す	各校の学校運営委員会の実施状況		2-1-イ
	通学区についての調査・研究	上昇 ▲	現状のまま実施	現状のまま実施	現状のまま実施	現状のまま実施	必要な見直しを図る	80%	80%	80%	順調	①要望の整理 ②地域や行政区との調整 ③必要に応じて検討を行う	教育総務課	通学区についての調査・研究状況を表す	通学区の見直し状況		2-1-エ
施策項目 2－2 食育・学校給食による望ましい食習慣の形成																	
	指 標	目指す 方向	計画時（H29）	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	5年後目標値	R4達成率	R5達成率	R6達成率	進捗状況 下記より ・目標達成・きわめて順調 ・順調・やや低調・低調	①令和6年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	・実績値把握方法 ・出典等	備考	千曲っ子ビ ジョンでの 施策
	学校における食育の推進	上昇 ▲	食生活の見直し	食指導を実施	食指導を実施	食指導を実施	食生活の改善	100%	100%	100%	目標達成	①栄養教諭による食指導を実施。（年間：第1学校給食センター27回、第2学校給食センター24回） ②指導時間の確保と継続的な実施。 ③栄養教諭による食指導を継続的に実施する。	学校給食センター	栄養教諭による食指導の実施状況を表す	栄養教諭による食指導の実施の有無		2-2-ア
	安全で安心な学校給食の提供	上昇 ▲	残菜を減らし、バランスのとれた学校給食の提供	栄養バランス、地産地消を考えた献立	栄養バランス、地産地消を考えた献立	栄養バランス、地産地消を考えた献立	残菜を減らし、バランスのとれた市の特色を生かした学校給食の提供 地産地消率55.0%	82.70%	79.80%	89.63%	順調	①地元農産物等利用促進関係者連絡協議会を開催し、意見交換する場を設けるなど、積極的に納入業者と連携を取り合い、地元産食材を取り入れた栄養バランスの良い献立の作成に努めた。 ②天候不順等により地元産食材の安定的な確保が困難である。 ③地元納入業者と密に連絡を取り合い、季節ごとに旬の地元食材を取り入れた、栄養バランスの良い献立となるよう工夫する。	学校給食センター	県内・市内産農産物などの地元産食材使用率が維持されているかを表す	長野県の学校給食県産農産物利用状況調査の報告値（食材数ベース）		2-2-イ

基本施策3 地域で青少年を育む風土をつくる																		
施策項目3－1 学校・家庭・地域などが連携をして取り組む教育																		
達成方針	指 標		目指す 方向	計画時（H29）	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	5年後目標値	R4達成率	R5達成率	R6達成率	進捗状況 下記より ・目標達成・きわめて順調 ・順調・やや低調・低調	①令和6年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	・実績値把握方法 ・出典等	備考	千曲っ子ビ ジョンでの 施策
	朝食を毎日食 べる児童生徒 の割合	小学生	上昇 ▲	89.50%	96.70%	96.30%	96.00%	97%	99%	99%	98.9%	きわめて順調	①毎日朝食を食べること、適性な睡眠時間の確保など基本的な生活習慣づけや規範意識の啓発等を 目的に、教育委員会で冊子「入学に備えて」を作成し来入児保護者に配布した。在校生には保健室 だより等による ②家庭での実践に繋げることが難しい状況がある ③引き続き、学校・家庭・地域等と連携し食育を推進するとともに望ましい生活習慣の啓発進めま す	教育総務課	基本的な生活習慣の 状況を表す	全国学力学習状況調査		3-1-ア
中学生		上昇 ▲	83.20%	95%	91.10%	93.80%	96%	99%	95%	97.7%	きわめて順調		教育総務課					
施策項目3－2 地域で育む健全な心とからだ																		
一人ひと りの個性 を尊重 し、生き る力を育 む教育環 境をつく る	指 標		目指す 方向	計画時（H29）	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	5年後目標値	R4達成率	R5達成率	R6達成率	進捗状況 下記より ・目標達成・きわめて順調 ・順調・やや低調・低調	①令和6年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	・実績値把握方法 ・出典等	備考	千曲っ子ビ ジョンでの 施策
	健全育成協力登録店舗 の割合		上昇 ▲	86%	86%	86%	86%	88%	97.7%	97.7%	97.7%	きわめて順調	①補導員が訪問して依頼 ②廃業等の把握が難しい ③今後も引き続き依頼していく	生涯学習課		青少年健全育成協力店 調査参照		3-2-ア
	放課後子ども教室・放 課後児童クラブの数		上昇 ▲	子ども教室 1 児童クラブ 9	子ども教室1 児童クラブ9	子ども教室 1 児童クラブ 9	子ども教室 1 児童クラブ 9	100%	100%	100%	目標達成	生涯学習課 ①更級小学校で放課後児童教室を実施（週一日） ②支援員（サポーター）の高齢化 ③支援員の募集、増設の検討 こども未来課 ①市内9か所の施設で放課後児童クラブを運営し、高学年までの受け入れを実施 ②利用者の増加に伴う施設の整備 ③小学校内への分室設置	生涯学習課・こども未来課	子供の居場所づく り	児童クラブの数		3-2-イ	
	他地域の子どものとの交 流活動の開催数		上昇 ▲	5	0	7	6	6	97.7%	117%	100%	目標達成	①姉妹都市交流事業、市リーダー研修会（日帰り）、長野地方ジュニアリーダー研修会の実施 ②開催時期の検討 ③引き続き地域を越えて充実した交流ができるような場を提供していく	生涯学習課		交流会等の実施状況		3-2-ウ
	施策項目3－3 文化・スポーツに親しむ環境の整備																	
	指 標		目指す 方向	計画時（H29）	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	5年後目標値	R4達成率	R5達成率	R6達成率	進捗状況 下記より ・目標達成・きわめて順調 ・順調・やや低調・低調	①令和6年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	・実績値把握方法 ・出典等	備考	千曲っ子ビ ジョンでの 施策
	今住んでいる 地域の行事に 参加している 児童生徒の割 合	小学生	上昇 ▲	86.20%	81.20%	78.60%	－	90%	90%	87%	－	＊調査の質問項目から外れたため数値無し ①総合的な学習の時間やふるさと学習ほ実施 ②継続的な地域学習 ③総合的な学習の時間を活用して、地域学習を継続する	教育総務課	地域とのつながり を状況を表す	全国学力学習状況調査		3-3-ア	
		中学生	上昇 ▲	75.50%	68.20%	57.70%	－	80%	85%	72%	－		教育総務課					
	「授業以外に、 運動やスポー ツを、週1回以 上している」 と回答した子 どもの割合	小学生	上昇 ▲	74.20%	72.90%	68.90%	68.90%	85%	85.80%	81.10%	81.10%	やや低調	①市スポーツ協会と連携したスポーツ教室の開催、千曲川ハーフマラソンファミリーの部の開催、北信越 大会等ブロック大会、全国大会出場に対する補助金交付等の財政支援。プロスポーツチームと連携し観戦 無料チラシを配布。 ②習い事の多様化等によるスポーツに触れ合う機会の減少 ③令和5～6年度にかけ千曲市スポーツ推進基本計画の見直しを行った。「子どものスポーツ活動の推 進」を基本目標の一つとし、6項目の具体的施策に取り組んでいく。	スポーツ課	継続的なアンケー トにより度合いを 表す	5年毎に市スポーツ課が 実施するアンケート調査 結果 （市内全小学校4～6学年 及び市内全中学校全学年 のうち各学年1クラスを 抽出し実施） ※R5にアンケート調査 実施。実績値、達成値は 次回調査まではR5数値 を記載		3-3-ア
中学生		上昇 ▲	66.70%	65.60%	0.6	57.00%	70%	93.70%	81.40%	81.40%	やや低調	①市スポーツ協会と連携したスポーツ教室の開催、北信越大会等ブロック大会、全国大会出場に対する補 助金交付等の財政支援、プロスポーツチームと連携し観戦無料チラシを配布。 ②スポーツ環境の整備（部活動地域移行等） ③令和5～6年度にかけ千曲市スポーツ推進基本計画の見直しを行った。「子どものスポーツ活動の推 進」を基本目標の一つとし、6項目の具体的施策に取り組んでいく	スポーツ課	継続的なアンケー トにより度合いを 表す				

第二次教育振興基本計画（後期計画） 指標 ※総合計画ではなく、本計画に独自に載せたもの

達成方針	指 標		目指す 方向	計画時（H29）	実績値 令和4年度	実績値 令和5年度	実績値 令和6年度	5年後 目標値	R4達成率	R5達成率	R6達成率	進捗状況 下記より ・目標達成・きわめて順調 ・順調・やや低調・低調	①令和6年度の取り組み内容 ②課題 ③今後の取り組み方策	担当課	指標選定の考え方	実績値把握方法・出典 等	備考	教育基本 計画での 施策	
一人ひとりの個性を尊重し、生きる力を育む教育環境をつくる	不登校児童生徒在籍比	小学生	維持 →	1.52% （令和3年度） 《参考》県：1.56% 国：1.30%	1.56	2.45	2.35%	1.30% （令和10年度）	83	53	55%	やや低調	①千曲市生徒指導委員会の検討内容を活かして各小学校の不登校対応を推進 ②支援につながっていない児童生徒を把握し、いかに減らしていけるか ③相談窓口の周知やチャイルドサポーター等のアウトリーチ支援を紹介する	教育総務課	不登校児童生徒の状況を表す	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（文科省調査）		1-1-2	
		中学生	維持 →	6.09% （令和3年度） 《参考》県：5.58% 国：5.00%	7.47	8.39	8.84%	5.00% （令和10年度）	67	60	57%	やや低調							
	不登校児童生徒が学校内外で相談・指導を受けた割合	小・中学生	上昇 ↑	76.1% （令和3年度） 《参考》県：66.6% 国：63.7%	87.8	75.8	78.70%	基準値を上回る （令和10年度）	100	95	100%	目標達成						1-1-2	

5 外部評価での意見・提言とそれに対する考え

(1) 地域クラブ活動体制整備事業

①令和8年度からの生徒の移動手段について

⇒令和8年度からは、各専門部に交付している補助金の中で必要に応じて循環バス、タクシーを利用してもらう予定です。

②月会費について

⇒今後、国の補助金が不透明なことから持続可能なクラブにしていくために、受益者負担として月額上限3,000円会費とし、月会費で2,200万円程度確保したいと考えています。

③保護者負担が更に増えることから、加入する子どもの参加が減るのではないかと。別の方法を考えてもらいたい。1人2年間で72,000円、2人いれば倍になる。3人いれば更に3倍。もっと子どもの意見を聞いてもよいのではないかと。子供はやりたいが、親がダメと言われれば参加できない。先日の新聞記事では、「親の負担がかかるからやめてくれ。」という記事が掲載されていた。もっとよい方法を考えてもらいたい。(意見のみ)

④クラブに加入することを諦めたという保護者がいると聞いている。クラブ化によって、金銭的負担が増えたが、心配毎も増えた。負担がかからない運営をしてもらいたい。

⇒自治体で運営していることから予算内にはなるが、工夫をしながら保護者負担がなるべく少なくし、子ども達が安心安全に活動できるようにしていきたい。

⑤元の方角へと戻す形で地域移行の指導者の在り方、教員の関わり方についてももう一度考え直してほしい。

⇒地域移行から4年ぐらいになるが、部活動に戻る事は国の方針からしてもないと思う。地域移行が進まない自治体はいずれ部活動がなくなり、自分でやれるところを探していくようになるのではないかと。千曲坂城クラブは、18の専門部があり、子ども達のやりたいニーズに合わせて、専門部も増やしてきているので、今後、様々な課題があるが、1つ1つの課題を皆さんの意見を伺いながら解決をして、よりよいクラブにしていきたい。

6 点検及び評価を受けて

千曲市教育振興審議会から、教育委員会が行った主要施策について意見・提言をいただき、教育委員会としての考えを明確にしました。

教育委員会の所管は、学校教育、学校給食、生涯学習、国際交流、スポーツ、文化・芸術、歴史・文化財と多岐に及びます。今年度の「点検及び評価報告」を基に、P(計画)・D(実行)・C(評価)・A(改善)サイクルを確立し、事業の選択と集中を進めることにより、一層効率的な事務執行に努めてまいります。

また、「点検及び評価報告」の議会への報告及び市民への公表は、教育委員会事務の説明責任を求められたものであり、本制度により教育委員会の基本方針をより分かりやすく、丁寧に説明をしてまいりたいと考えています。

なお、令和7年度の組織改編により、これまで教育委員会事務局でありました文化課、

歴史文化財センター、スポーツ振興課（スポーツ課）が市長部局に移管、市長部局でありました、人権・男女共同参画課、こども未来課、保育課が教育委員会事務局に移管となりました。市長部局に移管となった文化課等の事業は、本来、教育委員会で行うべき事業と法律で謳われており、特例により市長部局で事業を進めていることから、来年度開催する教育振興審議会において、文化課等の事業も今回と同様に報告することになり、また、市長部局から教育委員会部局に移管となった人権・男女共同参画課等の事業については、来年度から報告します。

7 資 料

（１）教育長・教育委員

役 職 名	氏 名	住 所
教 育 長	小 松 信 美	羽 尾
教育長職務代理者	中 村 洋 一	若 宮
委 員	松 田 祐 子	八 幡
委 員	新 海 敦 子	小 島
委 員	吉 味 淳	栗 佐
委 員	若 林 直 美	上山田

（令和7年3月31日現在）

（２）令和6年度 教育委員会基本方針

令和4年度を初年度とする『第三次千曲市総合計画（第2期千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略）』では、「人をてらす 人をはぐくむ 人がつながる 月の都 文化伝承創造都市・千曲」を将来像とし7つの基本目標を掲げました。

また、令和5年3月に宣言した『千曲市教育大綱』では、「一人ひとりの個性を照らす 生きる力と夢を育む 育ちを支え、人がつながる 千曲の教育」を理念として掲げています。教育委員会では、令和5年度に「第二次教育振興基本計画（後期計画）」並びに各個別計画の策定を行いましたので、今後は計画に沿って着実に施策を進めてまいります。

■教育総務課

子どもたち一人ひとりが将来において、その可能性を開花させ、自らの人生を幸福に過ごすことができるための資質・能力を身につけさせることが教育の役割です。

学校教育は、「学力の向上」「生徒指導の機能の充実」「GIGAスクール構想の充実」「ふるさと学習の推進」「部活動の地域移行の推進」を学校教育の5本柱として掲げました。

1点目の「学力の向上」は、学校授業においてデジタル端末を活用しつつ、一人ひとりの学びの状況を的確に把握し、きめ細かな指導を行います。個別最適な学びと協働的な学びの一体的な推進と、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善にも取り組みます。

また、小学校6年生と中学校3年生には「全国学力・学習状況調査」が実施されていますが、他の学年においても、学力や学習の状況を客観的に把握し、授業や学力向上に活用できるよう、市独自の「学力調査」を実施します。

2点目の「生徒指導の機能の充実」では、学校・教育支援センター・教育相談室を中心に関係機関との連携を図りながら、個に寄り添った支援を行うとともに、教育支援センターの充実や校内の居場所（スペシャルサポートルーム）づくりなど児童生徒にとっての安心な居場所づくりに努めます。

3点目の「GIGAスクール構想の充実」は、「個別最適な学び」「協働的な学び」を推進するため、一人一台端末を有効に活用しながら、インターネット上でのコミュニケーションに必要な、デジタルシチズンシップ教育の推進をさらに進めます。

4点目の「ふるさと学習の推進」では、ふるさとに誇りと愛着を抱く教育として、キャリア教育や千曲型コミュニティスクールの視点も取り入れ、地域資源である「人・もの・こと」から、地域全体が学習の場であり地域全体が教材であることを活用した学習に取り組みます。

5点目の「部活動の地域移行の推進」では、坂城町と共に中学校部活動に代わる新たなスポーツ・文化芸術環境の構築を目指し、昨年3月に「千曲坂城クラブ」を設立し、4月以降、15の専門部で休日部活動について、段階的に「千曲坂城クラブ」での活動に移行しました。また、10月からは、一部の専門部において平日部活動のクラブ移行の試行も始めています。令和6年度は、さらに生徒のニーズに対応していくため、新専門部を設置するなどクラブの充実を図り、令和8年度までに、平日も含めクラブへの完全移行を目指します。

教育環境では、五加小学校において、学校区内の児童数が増加傾向にあることから、令和5年度から教室棟増築工事に着手し、今年度1学期中の授業開始に間に合うよう工事を進めています。また、市内小中学校の特別教室にエアコンを設置し、熱中症の予防と快適な学習環境を整備します。

■生涯学習課

市民一人ひとりが自己を高め、生きがいを創出し、心豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習は大きな役割を果たしています。

生涯学習は、学校教育のみならず、乳幼児から高齢者まで、その生涯にわたって自らの意志により、いつでも、どこでも、だれでもが自由に行われる継続的な学習活動であり、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができるよう、体制を整えていく必要があります。さらには、その学びの成果が、社会や地域に適切に活かされるよう環境の整備をしていくことも大切です。

そのため、「第二次千曲市生涯学習基本構想・基本計画」（令和元年度から10年）に基づき、社会の変化に即した学習内容の提供など、計画に盛り込んだ施策を着実に推進します。また、市民の学習ニーズに応えるため、公民館では事業の充実を図ります。図書館でも施設整備を行うとともに、市民の教養、生涯学習の拠点として自由で親しみのある図書館づくりに努め、利用者の要望、時代の変化に対応した図書館サービスの推進、資料の提供を行います。

家庭での教育は原点であり全ての教育の出発点であることから、「家庭教育支援条例」もふまえ、家庭の教育力向上のため、学校、地域、事業者、行政等、その他市民皆で家庭教育を支えていくことを目指します。また、子どもたちの放課後の安全・安心な生活や活動の場を確保するために、子どもたちと地域の人たちが触れ合える機会を創出する、遊び場や学習の場づくりなどを一体的に進めます。

多文化共生社会の実現に向けては、異文化理解の推進や外国籍市民への支援、国際感覚豊かな人材の育成等を進めます。

■スポーツ振興課

スポーツ振興事業は、「第二次千曲市スポーツ推進基本計画（計画期間：令和元年度（2019年度）から10年間）」に掲げる「市民みなスポーツ」の実現に向け、「千曲市スポーツ推進委員」「NPO法人千曲市スポーツ協会」「総合型地域スポーツクラブ」などのスポーツ関係団体や地域密着型プロスポーツチームと連携し、市民がスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことができるよう、生涯にわたりあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的かつ自立的にその適性及び健康状態に応じて行なえる環境整備を進めるとともにスポーツツーリズムを推進し、地域の特色を活かしたイベントの開催や施設整備を行います。

令和10年度に長野県を主会場として開催されることが内定している第82回国民スポーツ大会及び第27回全国障害者スポーツ大会に向け、開催準備を進めるとともに、大会に対する県民・市民の関心を高め、大会を盛り上げる機運を醸成します。

体育施設運営については、長期的な視野に立ち、施設のあり方を検討するとともに、現在管理運営する施設について、指定管理者制度や市民協働、受益者負担などの考え方を研究しながら、更に合理的で経済的な運営方法を検討します。なお、安心して社会体育施設を利用いただくため、令和3年度より非構造部を含む施設の耐震化を順次進めており、令和6年度は東部体育館の非構造部材耐震化による実施設計に着手します。

総合運動公園の整備では、基本構想に基づき市民の健康増進をはじめスポーツによる交流、地域コミュニティ向上による地域づくりにつながるよう戸倉体育館エリアの整備を計画的に進めます。

また、整備促進のため財源や官民連携（PPP／PFI）による整備手法の検討を進め早期の整備を図ります。

■文化課

文化芸術は、心の豊かさやゆとりを実感できる市民生活を実現していく上で不可欠なものと言えます。そして、その振興は地域経済の発展や観光振興とも密接に関連し合い、活力と潤いのあるまちづくりに繋がるものとして「第3期千曲市文化芸術振興基本計画」（令和4年度（2022年度）から5年間）では、「豊かな風かよう 文化の薫り立つまち」を基本理念とし、基本目標と施策を掲げています。基本目標や将来像の実現に向けて具体的に事業を推進し、文化芸術の振興を図ってまいります。

中学校部活動の地域移行では、すべての子どもたちが将来にわたり豊かな文化芸術活動に親しむ環境を保障できるように、「千曲坂城クラブ」での休日の部活動を後押ししてまいります。

文化施設については、上山田文化会館トイレ改修工事、スプリンクラー設備の不具合が判明した信州の幸（めぐみ）あんずホール（更埴文化会館）のスプリンクラー改修工事と併せ、大ホールなどの特定天井落下防止工事を着実に取り組んでまいります。また公共施設個別施設計画に基づき、計画的な施設の整備及び適正管理にも努め、長寿命化に対応した屋根・外壁工事等も同時に進めてまいります。

■歴史文化財センター

文化財は、まちの歴史や文化を正しく理解するためにはなくてはならないものであると同時に、将来の文化の向上発展の基礎となるものです。また、その価値が損なわれると回復ができない、貴重な国民共有の財産です。

千曲市の貴重な文化財を守り、今後活用を図っていくため「千曲市文化財保存活用地域計画」の作成を行いました。本計画は、文化財や歴史遺産の取り扱いに際して保護を重視しがちだった従来の方針に加え、新たに活用視点に当たった歴史文化行政の推進を図ることとしています。

日本遺産「月の都 千曲」の主要な構成文化財である、重要文化的景観「姨捨の棚田」をはじめ、重要伝統的建造物群保存地区に選定された稲荷山の町並み整備など、指定文化財の保存・継承と歴史的建造物の保護を図るとともに、千曲市の歴史・文化的な魅力を幅広く情報発信します。市指定有形文化財「屋代小学校旧本館」は、市内に唯一残る明治時代の学校建築であり、保存と活用に向けた修理事業に着手します。

また、博物館等における講座・講演会などを通して文化財保護意識の啓発・育成を進めると共に、文化財施設や史跡公園等の適正管理に努めます。

■学校給食センター

学校給食については、衛生管理やアレルギー対応に細心の注意を払い、安全で安心な給食の提供に努めるほか、学校給食を「生きた教材」として活用し、望ましい食生活や地産地消の意識が身につくよう食育を推進します。

また、老朽化している施設・設備等については、業務継続のために必要な維持管理と改修・更新を適切に行い、長寿命化を図ります。

学校給食の公費支援についてであります。昨年に引き続き、賄い材料費について公費支援を実施します。物価高騰を原因とする給食費の増額は行いません。物価高騰下においても給食の質を維持しつつ、保護者の経済的負担を増加させないように取り組みます。

なお、就学援助制度の対象となる家庭に対しましては、給食費の実費担当分も就学援助の対象として無償化を行っており、これも継続いたします。

(3) 令和6年度 教育委員会議及び議決案件一覧

①委員会の開催状況 定例会12回 臨時会1回

②委員会の議決事項

年月日	議案・報告・専決 番号	議 案 名
第1回定例会 (R6.4.24)	議案第1号	千曲市教育支援委員の委嘱について
	議案第2号	千曲市総合教育センター企画運営委員会委員の委嘱について
	議案第3号	千曲市公民館運営審議会委員の委嘱について
	議案第4号	千曲市水辺の楽校運営委員会委員の委嘱について
	議案第5号	千曲市文化財保護審議会委員の委嘱について
	議案第6号	令和6年度教育施設工事・修繕計画調書について
	報告第1号	令和6年3月26日千曲市議会委員会報告について
	報告第2号	令和6年度外国語指導助手の学校配置について
	報告第3号	JFAこころのプロジェクト「夢の教室」2023年度実施報告書
	報告第4号	教育長、部・課長報告について
	報告第5号	行事の共催・後援について
	報告第6号	5月の各課の行事予定について
第2回定例会 (R6.5.22)	議案第7号	千曲市立図書館協議会委員の任命について
	議案第8号	千曲市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
	議案第9号	千曲市教育委員会事務処理規則の一部を改正する規則について
	議案第10号	千曲市公民館条例施行規則の一部を改正する規則について

	専決第1号	専決処分事項方向について(令和5年度千曲市一般会計(第10号補正)教育関係予算について)
	専決第2号	令和6年度千曲市更埴文化会館スプリングラー及び特定天井改修事業建築主体工事請負契約の締結について
	専決第3号	令和6年度千曲市更埴文化会館屋根・外壁改修工事請負契約の締結について
	報告第7号	令和5年度千曲市家庭教育支援条例に基づく支援施策の報告について
	報告第8号	令和6年4月19日総合運動公園等に関する特別委員会報告について
	報告第9号	令和6年4月25日総務文教常任委員会報告について
	報告第10号	令和6年5月14日市議会臨時会総務文教常任委員会報告について
	報告第11号	教育長、部・課長報告について
	報告第12号	行事の共催・後援について
	報告第13号	6月の各課の行事予定について
第3回定例会 (R6.6.26)	議案第11号	県教育委員会と市町村教育委員会相互の連絡調整について
	議案第12号	千曲市無形民俗文化財伝承指導者の委嘱について
	専決第4号	令和6年度千曲市奨学生の決定について
	報告第14号	更埴地区小中学校教科用図書採択研究協議会及び調査研究会の設置について
	報告第15号	千曲市無形民俗文化財伝承指導者の退任について
	報告第16号	令和6年6月千曲市議会定例会報告について
	報告第17号	教育長、部・課長報告について
第4回定例会 (R6.7.31)	報告第18号	行事の共催・後援について
	報告第19号	7月の各課の行事予定について
	議案第13号	千曲市公民館運営審議会委員の委嘱について
	議案第14号	令和7年度から使用する中学校教科用図書の採択について
	報告第20号	教育長、部・課長報告について
第5回定例会 (R6.8.21)	報告第21号	行事の共催・後援について
	報告第22号	8月の各課の行事予定について
	議案第15号	令和6年度千曲市一般会計(第2号補正)教育関係予算について
	議案第16号	千曲市教育委員会規則で定める様式における押印の廃止に関する規則の一部を改正する規則
	議案第17号	千曲市教育委員会要綱で定める様式における押印の廃止に関する要綱を制定する告示の一部を改正する告示
	議案第18号	千曲市立図書館の図書館資料の利用に関する要綱の一部を改正する告示
	議案第19号	千曲市文化財保存活用地域計画協議会委員の委嘱について
	議案第20号	第三次千曲市スポーツ推進基本計画について
	報告第23号	教育長、部・課長報告について
	報告第24号	行事の共催・後援について
	報告第25号	9月の各課の行事予定について

第6回定例会 (R6. 9. 25)	議案第21号	千曲市教育委員会公告式規則の一部を改正する規則
	議案第22号 議案第23号 議案第24号	千曲市教員住宅管理規則の一部を改正する規則 千曲市教育振興審議会委員の委嘱について 「第四次千曲市子ども読書活動推進計画」策定委員の委嘱について
第7回定例会 (R6. 10. 30)	報告第26号 報告第27号 報告第28号 報告第29号	令和6年9月千曲市議会定例会報告について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 10月の各課の行事予定について
	報告第30号 報告第31号 報告第32号 報告第33号	令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 11月の各課の行事予定について
第8回定例会 (R6. 11. 20)	議案第25号 議案第26号 議案第27号 議案第28号 議案第29号 議案第30号	千曲市教育に関する事務の職務権限の特例を定める条例制定について 令和6年度教育委員会事務の点検及び評価報告書（令和5年度実績） 千曲市文化財調査員の委嘱について 令和6年度千曲市一般会計（第5号補正）教育関係予算について 更埴体育館外5施設の指定管理者の指定について 令和6年度千曲市更埴文化会館スプリンクラー及び特定天井改修事業建築主体工事変更請負契約の締結について
	報告第34号 報告第35号 報告第36号 報告第37号 報告第38号	更埴体育館ネーミングライツ・パートナー優先候補者の決定について 千曲市更埴文化会館ネーミングライツ・パートナー優先候補者の決定について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 12月の各課の行事予定について
第9回定例会 (R6. 12. 25)	報告第39号 報告第40号 報告第41号 報告第42号	令和6年12月千曲市議会定例会報告について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 1月の各課の行事予定について
	議案第31号 報告第43号 報告第44号 報告第45号	令和6年度千曲市一般会計（第6号補正）教育関係予算について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 2月の各課の行事予定について
第10回定例会 (R7. 1. 29)	議案第32号 議案第33号 議案第34号 議案第35号 議案第36号 議案第37号 議案第38号 議案第39号 議案第40号	行政組織の変更に伴う関係条例の整備に関する条例制定について 千曲市フリースクール等利用者補助金交付要綱について 千曲市学校給食費徴収に関する規則の一部を改正する規則について 第四次千曲市子ども読書活動推進計画（案）について 令和7年度小・中学校学級編成届出書の提出について 千曲市立学校の学期について 令和6年度千曲市一般会計（第7号補正）教育関係予算について 令和7年度千曲市一般会計教育委員会関係当初予算について 千曲市少年育成センター少年補導委員の委嘱について

	報告第46号 報告第47号 報告第48号 報告第49号	令和7年2月5日市議会社会文教常任委員会報告について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 3月の各課の行事予定について
第12回臨時会 (R7.3.5)	議案第41号	令和7年度教職員人事の内申について
第13回定例会 (R7.3.26)	議案第42号 議案第43号 議案第44号 議案第45号 議案第46号 議案第47号 議案第48号 議案第49号 議案第50号	令和7年度教育行政の基本方針について 教育行政組織の変更に伴う関係要綱の整備に関する告示について 教育行政組織の変更に伴う関係規則の整備に関する規則について 教育行政組織の変更に伴う規程の整備に関する訓令について 教育行政組織の変更に伴う関係要綱の制定について 教育行政組織の変更に伴う関係規則の制定について 教育行政組織の変更に伴う関係規程の制定について 千曲市公民館正副館長の任命について 教育委員会職員人事について
	報告第50号 報告第51号 報告第52号 報告第53号 報告第54号 報告第55号	令和7年度千曲市教育委員会施設長について 令和7年度千曲市スポーツ推進委員の委嘱について 令和7年3月千曲市議会定例会報告について 教育長、部・課長報告について 行事の共催・後援について 4月の各課の行事予定について

(4) 教育委員会事務分掌（「令和6年度教育要覧」から）

事 務 局		(R6.4.1 現在)
教育総務課	総務係	教育行政に係る企画及び連絡調整、教職員の任免、内申その他人事 教育財産管理、教育振興基本計画の進行管理、奨学金の貸与 教育行政相談、学校医の委嘱、教育委員会の組織及び会議 寄附採納、教育委員会の広報公聴、表彰及び褒賞、職員の人事と給与 物品及び公印の取扱い・文書の収受、教育予算の調整と経理 教育委員会の庶務関係、規則の制定改廃、姉妹都市児童交流事業 教育委員会の会議、部・課の庶務関係
	学校教育係	教科用図書採択関係、就学援助 中学校部活動改革、教職員住宅管理 学校の組織編成及び学校運営、学校予算及び財務会計 教育課程関係、学習指導、教育活動 学齢簿の整理、特別支援教育 児童生徒の就学、義務教育関係補助金 学校職員の研修、教科書給与事務 生徒指導関係、外国語指導助手の任用 情報教育、国際理解教育、小学校外国語活動 不登校対策、その他教育相談、就学相談等（教育相談室）

		学校職員及び児童生徒の福利、保健安全厚生 キャリア教育の推進及び支援 千曲型コミュニティスクールの推進及び支援
	教育施設係	学校の設置及び廃止、財産の管理 学校施設及び学校財産の維持管理、学校改築、大規模改造工事 学校施設及び設備の整備、修繕、教職員住宅解体、撤去 学校環境衛生
生涯学習課	生涯学習係	生涯学習基本構想・基本計画の推進、生涯学習推進本部の庶務 生涯学習の専門的事項等の調査研究等、生涯学習出前講座事業 水辺の楽校の運営、生活運動の推進 社会教育委員及び同会議、社会教育団体の育成 社会教育施設の設置、整備、管理、廃止、財産の管理 学校教育と社会教育の連携、家庭教育支援事業の推進 公民館、図書館との連絡調整、公民館分館建設事業補助金 生涯学習人材バンクの整備、少年育成センター事業の推進 青少年事業の推進、青少年教育団体との連絡調整 青少年対策に係る施策の企画及び連絡調整 子どもの居場所づくり事業、放課後こども教室事業の推進 地域未来塾事業、国際理解・国際交流に係る事業の推進 多文化共生に係る事業、原体験の森宿泊研修施設の管理運営、坊城平いこいの森施設の管理運営
スポーツ振興課	スポーツ振興係	社会体育及びスポーツ振興 スポーツ団体等の育成指導 体育大会、スポーツ教室等の開催と奨励 レクリエーション等の企画立案指導
	施設整備係	社会体育施設の維持管理運営 緑地公園内体育施設等の維持管理運営 社会体育施設・緑地公園内体育施設・学校体育施設予約システム管理運用 災害復旧事業
	国民スポーツ大会準備係	第 82 回国民スポーツ大会に関する各種調査とりまとめ、報告 第 82 回国民スポーツ大会、第 27 回全国障害者スポーツ大会の啓発 ボッチャ競技の普及、審判員の育成支援
学校給食センター	管理係	物資の調達及び経理、施設整備及び労務管理並びに衛生管理 所要栄養量、食品構成表及び献立作成並びに各種報告 学校給食の向上に必要な調査及び指導、研修 調理、衛生管理及び検食の指導、学校給食費徴収事務
	調理係	調理指導及び衛生指導、調理班の指導監督及び給食調理 配送計画及び指示、物資の検収、管理及び保管

		調理用機械設備、器具類の維持管理 アレルギー給食対応
文化課	文化振興係	文化芸術振興事業計画及び実施、文化施設等の管理運営 文化芸術団体及び関係機関等の連絡調整、その他文化芸術の振興
歴史文化財センター	文化財係	文化財の調査、保護、活用、文化財保護審議会、文化財調査員等 保存、活用、所蔵資料の整理、活用、施設の管理運営
	埋蔵文化財係	埋蔵文化財の調査、文化財収蔵施設の維持管理

教育機関・施設		
総合教育センター		児童生徒の教育にかかわる相談、就学相談・就学判断 教育相談に関する各機関との連絡、学力向上等教育課題の調査研究 GIGA スクールの推進、教育課程の改善研究、教職員研修事業の実施、施設の維持管理運営
公民館	業務係	社会教育事業の計画実施、社会教育関係団体との連絡 生涯学習の推進、その他公民館活動の普及浸透 人権教育の推進、青少年健全育成事業、家庭教育支援事業の計画実施
原体験の森宿泊研修施設		施設の管理運営
坊城平いこいの森		施設の維持管理
図書館	業務係	施設の維持管理、読書活動推進事業の企画運営 図書館協議会、子ども読書活動推進事業の実施 図書資料の購入・利用事務、読書相談、指導
戸倉創造館	業務係	施設の管理運営、文化情報収集及び広報宣伝 文化芸術活動の支援、舞台業務
更埴文化会館	庶務係	更埴、上山田文化会館の庶務
	業務係	施設の管理運営、自主事業の企画運営 文化情報収集及び広報宣伝 文化芸術活動の支援 舞台業務 屋代駅市民ギャラリーの展示運営
上山田文化会館	業務係	施設の管理運営、自主事業の企画運営 文化情報収集及び広報宣伝 文化芸術活動の支援 舞台業務
森將軍塚古墳館	学芸係	森將軍塚古墳館、科野の里歴史公園の管理運営
さらしなの里歴史資料館	学芸係	さらしなの里歴史資料館、古代体験パークの管理運営
武水別神社 神官松田邸	学芸係	武水別神社神官松田邸の管理運営